

オリンピック・パラリンピック準備局指定管理者評価委員会 議事録

開催日時	令和2年7月31日(金) 8時30分～14時45分
開催場所	東京都庁第二本庁舎10階 213・214会議室
出席者	(委員長) 守泉 誠 (委員) 小海 隆樹 丸山 正 澤井 和彦 (指定管理者) 以下9施設の担当者 東京体育館 駒沢オリンピック公園総合運動場 東京武道館 東京辰巳国際水泳場 有明テニスの森公園テニス施設 若洲海浜公園ヨット訓練所 武蔵野の森総合スポーツプラザ 東京都障害者総合スポーツセンター 東京都多摩障害者スポーツセンター

# - 目次 -

指定管理者評価制度の説明.....	1
-------------------	---

## 所管局一次評価

【東京体育館】 .....	5
【駒沢オリンピック公園総合運動場】 .....	6
【東京武道館】 .....	7
【東京辰巳国際水泳場】 .....	8
【有明テニスの森公園テニス施設】 .....	9
【若洲海浜公園ヨット訓練所】 .....	9
【武蔵野の森総合スポーツプラザ】 .....	10
【東京都障害者総合スポーツセンター】 .....	10
【東京都多摩障害者スポーツセンター】 .....	11
【全体を通しての質疑】 .....	12

## 評価委員会二次評価

【東京体育館】	
指定管理者によるプレゼンテーション・評価委員による質疑.....	19
二次評価審議 .....	24
【駒沢オリンピック公園総合運動場】	
指定管理者によるプレゼンテーション・評価委員による質疑.....	27
二次評価審議 .....	31
【東京武道館】	
指定管理者によるプレゼンテーション・評価委員による質疑.....	33
二次評価審議 .....	38
【東京辰巳国際水泳場】	
指定管理者によるプレゼンテーション・評価委員による質疑.....	39
二次評価審議 .....	44
【武蔵野の森総合スポーツプラザ】	
指定管理者によるプレゼンテーション・評価委員による質疑.....	46
二次評価審議 .....	51

【東京都障害者総合スポーツセンター】	
指定管理者によるプレゼンテーション・評価委員による質疑.....	53
二次評価審議.....	57
【東京都多摩障害者スポーツセンター】	
指定管理者によるプレゼンテーション・評価委員による質疑.....	60
二次評価審議.....	64
【有明テニスの森公園テニス施設】	
指定管理者によるプレゼンテーション・評価委員による質疑.....	66
二次評価審議.....	72
【若洲海浜公園ヨット訓練所】	
指定管理者によるプレゼンテーション・評価委員による質疑.....	73
二次評価審議.....	76
全体整理.....	78

## 指定管理者評価制度の説明【所管局】

発言者	内容
渡辺課長	<p>ただ今から、オリンピック・パラリンピック準備局指定管理者評価委員会を開催いたします。本日は、委員の皆さまに、お忙しい中御出席いただき、誠にありがとうございます。</p> <p>私は、本委員会事務局、オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部施設管理担当課長の渡辺でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>最初に委員の皆様のご紹介をさせていただきたいと思っております。公認会計士の守泉先生です。</p>
守泉委員長	守泉でございます。よろしくお願いいたします。
渡辺課長	日本女子体育大学教授の小海委員です。
小海委員	小海です。よろしくお願いいたします。
渡辺課長	公益財団法人日本レクリエーション協会専務理事の丸山委員はただいま向かわれております。到着され次第ご紹介いたします。続きまして、明治大学商学部専任准教授の澤井委員です。
澤井委員	澤井です。よろしくお願いいたします。
渡辺課長	<p>本委員会は、オリンピック・パラリンピック準備局指定管理者評価委員会設置要綱に基づいて組織されておまして、同要綱の第4及び第6により、委員長及び議長は、委員による互選としております。今回は互選により守泉先生に委員長をお願いいたしております。</p> <p>なお、委員会の運営進行につきましては、オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部長の鈴木が運営します。</p>
鈴木部長	<p>鈴木でございます。おはようございます。事務局を代表しまして、一言ご挨拶いたします。本日はお忙しいところありがとうございます。東京都指定管理者評価委員会にご出席いただきまして、ありがとうございます。日頃から、東京都のスポーツ行政に関しましてご理解ご協力を賜りまして誠に感謝申し上げます。</p> <p>指定管理者制度は平成15年の地方自治法改正に伴いまして、平成18年4月から導入し、15年目を迎えたところでございます。東京都スポーツ事業といたしましては、公の施設の設置者として管理運営に更なるサービスの質の向上や安全管理面の徹底等、指定管理者の管理運営状況に関しまして第三者の視点を含めた評価を毎年行うことをしております。ぜひ忌憚のないご意見をお伺いしたいと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>なお、本日の委員会の会議資料・議事録につきましては、後日ホームページで公開することとなっております。</p> <p>議事録につきましては発言内容を要約したもので、作成したいと思っておりますが、ご異議ございますでしょうか。はい、ありがとうございます。</p> <p>それでは議事録につきましては発言内容を要約したもので作成いたしまして、</p>

	<p>公開直前に後日ご確認をお願いしたいと思います。それではこれより、議事に入ります。次第に従いまして、管理者管理運営状況評価の流れについて、事務局よりご説明を申し上げます。</p>
事務局	<p>会議に先立ちまして、資料の確認をさせていただきたいと思います。まずお手元にお配りをしてございます、資料の一番上に今回の評価委員会の次第を用意してございます。</p> <p>1枚おめくりいただきますと、配布資料ということで7点、資料について列挙してございます。以降、資料1、こちらは委員の名簿ということでございます。資料2につきましては、「対象施設及び指定管理者」。資料3になりますとA3判になってございます、「指定管理者管理運営状況評価の流れ」という資料でございます。次に、資料4になります。こちらは資料ごとの一次評価の資料ということでお配りしてございます。次に、資料5でございます。こちらは本日プレゼンをする指定管理者の管理運営状況の資料となっております。</p> <p>そして資料6といたしまして、二次評価の案でございます。</p> <p>そして一番最後に資料7として設置要綱をお配りさせていただいてございます。資料について過不足がございましたら挙手をお願いできますでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。</p>
渡辺課長	<p>それでは本日はオリンピック・パラリンピック準備局所管の既存体育施設7施設及び障害者スポーツセンター2施設、合計9施設につきまして、所管局による一次評価、評価委員会による二次評価を進めたいと思います。</p> <p>なお、評価の審議に関しまして、指定管理者のプレゼンテーション及び質疑を行います。まず指定管理者評価の全体の流れについてご説明させていただきます。資料3をご覧ください。A3資料のタイトルが「指定管理者管理運営状況評価の流れ」という資料でございます。</p> <p>評価の流れといたしましては、まず左側の確認項目、こちらにつきましては、①管理状況、②事業効果ということでございます。①の管理状況につきましては、施設管理の面、個人情報保護の面、施設の安全性の確保の面、適切な経理処理・財務という内容です。そして②の事業効果につきましては利用者促進の取組の効果ですとか、事業内容や職員対応について利用者の方の反応について確認するものでございます。</p> <p>そして左から2列目の管理運営状況の確認でございますが、指定管理者から毎月月報という形で履行状況について都のほうに報告をいただいております。そして年2回程度、実地調査のヒアリングを行っておりますが、これ以外に年度終了後の事業報告書、それから財務諸表、利用者アンケートを提出いただきまして、その取り組み状況を確認しているということでございます。</p> <p>資料の真ん中、一次評価でございますが、都の評価につきましては所管局としまして、管理運営状況の確認の結果等を踏まえまして、年間を通じた管理運営状況について一次評価を出すことになっております。各確認項目につきましては、指定管理者が果たすべき業務に照らしまして、「水準どおり」の場合には1点、「水</p>

	<p>準を上回る」場合には2点、「水準を下回る」場合には0点というような3段階の評価を行っております。</p>
<p>渡辺課長</p>	<p>これらの項目の評価の得点の合計点に基づき、全確認項目において中位の評価、「水準どおり」を受けた場合の合計点を「標準点」と呼びます。それをS・A・B・Cの4段階に分けて評価をしてございます。</p> <p>一次評価につきましては、財務状況の確認ということで、公認会計士の守泉先生のご協力をいただきまして、財務状況についても確認をしております。また選定時の指定管理者の指定の際の特命要件が設定されている場合につきましては、継続状況についても確認をしているところでございます。なお、新型コロナウイルス感染拡大のため、開館していた施設については今年の2月下旬から順次閉館しておりました。そのため評価につきましては、閉館中を除く期間で評価をしております。</p> <p>そして資料の一番右側、二次評価でございます。今回の評価委員会の専門的評価ということでございますけれども、評価委員会は、指定管理者の管理運営状況を客観的・総合的に評価するために設置し、外部委員のみという構成をさせていただいております。評価の内容でございますけれども、一次評価の内容についての検証、そしてそれぞれの項目について、専門的な評価をいただくということでございます。また、指定管理者のサービス水準の向上や効率的な運営の推進に関しましても、ご助言いただければと思います。二次評価の評価基準につきましては、こちらの記載の通り、4段階で決定しております。</p> <p>Sについては管理運営が優良、特筆すべき実績・成果が認められた施設。</p> <p>Aについては管理運営が良好、管理運営に係る様々な点で優れた取組が認められた施設。</p> <p>Bにつきましては管理運営が良好であった施設ということでございます。</p> <p>最後にCでございますが、こちらについては一部において良好ではない点が認められたという場合がございます。</p> <p>なお、管理運営状況評価結果において、予め定められた基準を満たす場合に、次期、指定管理者選定時に加算または減算いずれかを行うことができることとなっております。加算が行われますのは、S評価を2年以上連続して取得した場合となっております。例えばS評価を2年、C評価を1年取得した場合には最大5%。それからS評価を2年、A評価またはB評価を1年取得した際は最大10%。S評価を3年連続で取得した際は最大20%の範囲内で、選定における総得点に加算することが定められております。</p> <p>雑駁ではございますが、指定管理者管理運営状況評価の流れについては以上でございます。</p>

鈴木部長	<p>ただ今の指定管理者管理運営状況評価の流れにつきまして、ご質問等ございませんでしょうか。また、ご質問等があれば、適宜よろしく申し上げます。</p> <p>続きまして、各施設につきまして所管局による一次評価の結果の報告に移ります。午前中は一次評価の報告の後、10分の休憩を挟みまして東京体育館ほか4施設について、指定管理者によるプレゼンテーション、質疑、及び二次評価の審議を行いたいと思います。どうぞよろしく申し上げます。では、始めに東京体育館の一次評価の結果につきまして、事務局よりご報告をいたします。</p>
------	---

## 所管局一次評価【東京体育館】

発言者	内容
渡辺課長	<p>資料につきましては、手持ちの資料一式の、資料4ですね。左上に「所管局による一次評価結果報告」とありますこちらと、付属資料の資料3をご覧になりながらお聞きいただければと思います。</p> <p>東京体育館ですが、まず前提条件として、東京体育館は平成30年1月1日から令和2年1月31日まで、改修工事のため閉館しておりました。またその後令和2年2月1日から東京2020大会の準備のため休館しておりました。評価点といたしましては、例えば保守点検を既定の回数以上実施する他、日誌及び点検簿の整備水準が高い点を評価しております。</p> <p>また、施設の清掃等につきましては、昨年度評価は規程回数以上の清掃を行っていて高い評価でしたが、今年度は日常清掃と大会前清掃のみのため、「水準どおり」と評価をしております。</p> <p>簡単ではございますが、説明は以上となります。</p> <p>一次評価結果としてはBにさせていただきます。以上でございます。</p>
鈴木部長	ただ今の件につきましてご質問等いかがでございましょうか。
守泉委員長	東京体育館の部分で、当初一次評価ということで送られてきた資料の中に、「要確認」というのが書いてあったんですが、こっちのほうでは「要確認」っていうのが無くなってんですけど、そこはどういう？
事務局	先日郵送でご自宅にお送りさせていただいたものに関しまして、一部その後の修正がございましたので、本日机前にお渡しをさせていただきます資料でご確認をいただければと思います。
守泉委員長	例えば、「改修工事等のため他の施設で事業を実施している（要確認）」っていうのは、それは実施しているかどうかというところがその時はまだ明確ではなかったのが、その後の調査の結果、これに関しては実施しているという解釈でよろしいということですか。
事務局	はい。
鈴木部長	<p>いかがでございましょうか。</p> <p>では、続いて駒沢オリンピック公園総合運動場につきまして、ご説明をお願いします。</p>

所管局一次評価【駒沢オリンピック公園総合運動場】

発言者	内容
渡辺課長	<p>本日の午後に二次評価がございます。先に委員の先生方からいただいたご質問でございますが、一次評価の結果あるいは内容についてですね、プレゼンテーションの質疑の際に指定管理者にさせていただくこともできますので、東京体育館もこの後、ご質問ですとかご意見等ございまして何かある場合には午後の場でもご質問いただけますので、駒沢につきましてご説明させていただきたいと思えます。</p> <p>では駒沢オリンピック公園総合運動場についてでございます。まずこちらの前提条件としては、硬式野球場につきましては、平成30年3月1日から令和元年8月30日まで改修工事のため休館しておりまして、またトレーニングルームにつきましては新型コロナウイルス感染症の影響により、今年の2月27日から休館をしているという形でございます。</p> <p>評価項目としては、防災への配慮・緊急時対策についてさらなる取組みといたしまして、地域と連携して防災訓練に取り組む、こういった点を評価しています。</p> <p>またその他の項目としまして、公園協会との連携ですとか、大規模改修工事にあたり、都や業者との調整を密に行っているという点を評価してございます。</p> <p>資料のほうをご覧頂きますと、一次評価はBにさせていただいております。説明は以上でございます。</p>
鈴木部長	<p>それではただ今の駒沢オリンピック公園総合運動場につきまして、よろしいでしょうか。</p> <p>では続きまして、東京武道館につきまして、一次評価の結果についての報告をお願いします。</p>

## 所管局一次評価【東京武道館】

発言者	内容
渡辺課長	<p>それでは東京武道館について、こちらも前提条件があるんですが、こちらにつきましては新型コロナの影響で同じように令和2年2月27日からトレーニングルームは休館しております。その中での評価ということになりますけども、利用状況につきまして、個人利用者数の伸び率とか、高い団体稼働率を維持しているところを評価しております。</p> <p>一次評価はBをつけさせていただいています。以上になります。</p>
鈴木部長	<p>はい、ありがとうございます。それではただ今の東京武道館の一次評価につきまして何かあればお願いします。</p>
守泉委員長	<p>1点だけよろしいですか。</p> <p>私のほうで改善が望まれる点のところには入れたんですけども、1つは文書の保存っていうのを公益の財団法人とかでも、収益事業とか税務申告とかの場合には私のほうで書いたように、会社法上10年、税法は7年っていうので、だいたい指導として少なくとも7年は必要かつ、例えば普通の会社だと、赤字がずっと続いているものに関して、その繰越欠損は10年間使えるのですよね。</p> <p>そういう意味で10年間は文書を保存しなさいっていう形で通常の民間企業とかについては指示をしてやっているんですけども、そのあたりは何か一律に東京都として何か指導していたりするのでしょうか。</p>
事務局	<p>基本的に都の文書管理規程ですとか、ルールに則って文書管理、個人情報の管理をやっておりますので、今おっしゃった繰越欠損とか10年とかですね、そのへんについてどこまで整合性が取れているかっていうのは正直、把握できていないところがあります。午後、指定管理者が来ますので、その中で確認してもらいたいと思います。</p>
守泉委員長	<p>あとは、体育施設のこれも書いたところなんですけど、最近よく言われる体育施設自身が、特に中学・高校など学校のメンテナンスがなかなかできなくて、ささくれだった所でケガをしたりとか、そういうものが非常に今増えていると聞いて、その対策をどうすべきかというんで、教育委員会が順次やってきてるんですけど、今回のようにささくれではなくて釘が出ていると、それってもうそもそも偶然的なものというより予見可能だった感じじゃないんですかと思うんですけど、それについて統一的に都として何かやっているのでしょうか。</p>

渡辺課長	<p>日々の施設管理運営の中で床の点検ですとか、あるいは天井の点検をしています。ですから、その釘っていうのが、我々いつも施設管理運営をしている中でも初めて聞いたような事例です。ささくれは確かに時々あります。それはバレーボールで滑り込みした時にささくれがあると、やっぱり木が刺さってしまう、プレーできない。そうすると大会のレギュレーションを満たさなくて、大会が開けないということになるので、そこは実は現場が一番気を使っているところではあるんです。やっぱり利用者からのクレームにもなりますし。まずそういうことは、ささくれ1つについても見落とさないような点検を基本的にはしておりますし、もしそういうものが見つければ、すぐ本庁の施設部隊、技術部隊と一緒に入って工事をする、補修をする、という体制をとっております。一時的にはテープを貼って応急的に、その後床の張替えという形をとっているのですが、ちょっとこういう事例は確かに今までなかったですね。</p>
鈴木部長	<p>他はよろしいでしょうか。 それでは続きまして東京辰巳国際水泳場の一次評価結果となります。</p>

#### 所管局一次評価【東京辰巳国際水泳場】

発言者	内容
渡辺課長	<p>それでは東京辰巳国際水泳場の一次評価結果ですが、プール、こちらメインとダイビングプールとサブプールとございますけども、こちらも新型コロナの影響により、今年の2月27日から休館という形をとっております。</p> <p>それで評価点でございますけれども、プール施設の管理につきましては、昨年度評価、水質レベルの高さ、こちらを評価しておりましたけれども、今年度は「水準どおり」と評価しております。</p> <p>それからその他項目として、大規模改修工事にあたってですね、都・業者との調整を密に行っている点ですとか、年末に急遽見つけましたアスベスト工事に関する迅速な対応を評価しております。</p> <p>一次評価結果はBという形にしております。以上です。</p>
鈴木部長	<p>ただ今の東京辰巳国際水泳場のご報告につきまして何かありましたらお願いいたします。</p> <p>では続きまして有明テニスの森公園テニス施設の一次評価について、事務局よりご報告をお願いします。</p>

### 所管局一次評価【有明テニスの森公園テニス施設】

発言者	内容
渡辺課長	<p>まず、こちらの前提条件からになります。これは平成 31 年 4 月 1 日から令和元年 9 月 16 日まで改修工事のため休館しております。またその後、同年 9 月 17 日から 11 月 6 日まで東京 2020 大会テストイベントのため、休館しております。</p> <p>また、翌年、令和 2 年 2 月から東京 2020 大会準備のために休館という形になっております。</p> <p>評価項目としましては、その他項目になりますが、大規模改修工事への協力・調整や限られた期間での施設再開準備を評価しております。</p> <p>また、収支につきまして、昨年度評価、計画を大幅に超えた体育施設利用料収入ということで評価していたんですが、今年度は「水準どおり」という形をとっております。以上になります。</p>
鈴木部長	<p>はい、ありがとうございます。それではただ今の内容につきましてご意見などございましたらよろしくお願ひします。</p> <p>よろしいでしょうか。それでは、次は若洲海浜公園ヨット訓練所でございます。</p>

### 所管局一次評価【若洲海浜公園ヨット訓練所】

発言者	内容
渡辺課長	<p>評価項目としてはですね、その他項目になりますけども、昨年度評価、東京 2020 大会に伴う江の島からのヨット受入等、積極的な協力、これを評価しております。ただ今年度は現状維持のため「水準どおり」と評価しておりまして、一次評価は B という形をつけさせていただいております。以上でございます。</p>
鈴木部長	<p>はい、ありがとうございました。それでは質問等ございましたらよろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは武蔵野の森総合スポーツプラザについてでございます。一次評価の報告でございます。</p>

### 所管局一次評価【武蔵野の森総合スポーツプラザ】

発言者	内容
渡辺課長	<p>はい、武蔵野の森総合スポーツプラザにつきましては、メイン・サブアリーナ、こちらにつきましてはラグビーワールドカップの開催準備のため、令和元年9月5日から11月7日まで休館しております。また、プール・トレーニングルームにつきましては、新型コロナの関係で、令和2年2月27日から休館という形をとっております。</p> <p>評価項目でございますけれども、全体的に管理状況等についての評価をおおむね水準どおり。それから、先ほど申し上げましたラグビーワールドカップでの施設提供にも積極的、主体的に対応したということで評価をしております。</p> <p>一次評価はBをつけさせていただいております。説明は以上になります。</p>
鈴木部長	<p>ただ今の武蔵野の森総合スポーツプラザの評価について、後ほどよろしくお願ひします。それでは、ここまでが体育施設でございますが、続きましては東京都障害者総合スポーツセンターについてでございます。事務局よりご報告をお願ひします。</p>

### 所管局一次評価【東京都障害者総合スポーツセンター】

発言者	内容
渡辺課長	<p>はい、東京都障害者総合スポーツセンターにつきましては、運動場・庭球場、テニスコートですね、こちらについて改修工事のため令和元年7月27日まで休館しておりました。</p> <p>また新型コロナの関係で、プール・トレーニング室については令和2年2月27日から休館。その他の施設につきましては2月29日から休館としております。</p> <p>評価項目でございますけれども、まず、利用状況につきましては、利用者数の大幅な増加を評価しております。また、苦情等への対応につきまして、利用者の声調整委員会というのを設置してございまして、外部の有識者や専門家を活用している点を評価しております。</p> <p>一次評価はBをつけさせていただいております。説明は以上でございます。</p>
鈴木部長	<p>はい、ありがとうございます。それでは、続きまして東京都多摩障害者スポーツセンターのご報告となります。</p>

所管局一次評価【東京都多摩障害者スポーツセンター】

発言者	内容
渡辺課長	<p>はい、東京都多摩障害者スポーツセンターにつきましては、平成 30 年 4 月 10 日から令和元年 5 月まで改修工事をしておりまして、この間、調布庁舎にて代替運営をしております。また、令和元年 6 月 1 日から 6 月 29 日につきましては、調布庁舎からの移転のための休館をしております。新型コロナ関係につきましては、まずプール・トレーニング室につきましては、令和 2 年 2 月 27 日から休館、その他の施設につきましては同年の 2 月 29 日から休館という形をとっております。</p> <p>評価の項目といたしましては、まず、これは総合とも同じにはなりませんけれども、苦情等への対応につきまして利用者の声調整委員会で外部の有識者ですとか、専門家を活用している点を評価しております。その他項目といたしまして、大規模改修工事への協力や大規模改修後の細やかな改善点についての積極的な対応を評価しております。</p> <p>一次評価は B をつけさせていただいております。説明は以上でございます。</p>
鈴木部長	<p>はい、ありがとうございます。それではただ今の説明につきまして、何かございましたらよろしくお願ひします。</p> <p>それでは、一次評価の結果につきましての報告は以上でございます。</p>

所管局一次評価【全体を通しての質疑】

発言者	内容
鈴木部長	この次は各指定管理者からのプレゼンテーションということになっておりますが、これが9時48分からのスタートということで、それまで休憩となります。ちょっと早めに終わりましたので。
小海委員	全体を通して、ちょっとすみません。
鈴木部長	はい、では先生どうぞ。
小海委員	2つ3つあるんですけど、1つは先ほどのご説明の中で色々と休館中とかってありましたが、それが全部のところに入ってるのかな。ちょっと私が見きれていないのかもしれないんですけど、入っているものと入っていないものがあるって、休館期間が分かった上である程度見なきゃいけないのかな、と。
渡辺課長	その資料がですね、すみません分かりづらい資料かもしれないんですけど、付属資料の参考1というA3の、後ろのほうについている資料がありまして、平成31年度から令和2年度までイレギュラーな動きをしております。オリンピックの準備ですとか、あと年度末については新型コロナの影響とか、ちょっと通常の動きにはないような状況でございまして、こちらにまとめさせていただいております。
小海委員	はい、ありがとうございます。 これ、事前にいただいた資料にはないものでして…
事務局	事前にお送りさせていただいた資料のうち、「イ 一次評価結果」と書かれた資料に施設ごとに開館期間を記載させていただいております。
渡辺課長	一覧ではお送りしていませんね。
小海委員	これですよね。
事務局	左様でございます。
小海委員	これオリンピックも入っているののですしたっけ？
渡辺課長	オリンピックの準備のために休館している場合等々があれば同じように記載しております。
小海委員	あと、一次評価で、確か利用者満足度のところでアンケート調査を元に、だいたいところで4項目で「大変満足」「やや満足」、それが90%以上だと一番上の2点をつけているということですが、これ、アンケートの取り方って前もあったかもしれないのですが、施設によってちょっと違いますね。 そのへんが良いのかどうか分からないのですが、ただ4段階で上の2つがあって、それが2点になるのはどうなのかなと。一番上が例えば7割8割あったら。
渡辺課長	「十分満足」とかについて、「まあ満足」まで入れて評価して、まとまるのかってことですよ。
小海委員	「まあ満足」まで入れちゃうとみんな入る。それは「水準どおり」でいいのかな、って。他の評価と比べるとそこだけポンッと出ているのが、ちょっと違和感

	<p>がありました。他のところは全部「水準どおり」になっちゃっていて、そっちのほうに分けたいところがあつて。</p>
渡辺課長	<p>そうですね、この評価が「まあ満足」まで入れて9割、評価項目が高くなる。</p>
小海委員	<p>あと、これも施設によって違うんですが、団体稼働率っていうものを出してあるんですけど、そこにプラスして人数が入っている施設と人数を入れてない稼働率だけ、出せる数字かどうか分からないんですけど、人数が出てくるともうちょっと中身が見えてくるのかなと。</p> <p>今の稼働率とかアンケートに関しては、これを出してくださいって、共通のものをやっちゃったほうがこちらとしては見やすい。ちょっと5段階とか色々あるので。</p>
渡辺課長	<p>稼働率と利用人数につきましては、確かに我々も悩ましいと思っているところでございまして、ただ施設の中で特徴が違うというところもありまして、観客席数が2万席あると、観客席が200席しかない施設があるとですね、そうすると利用者数を入れてしまうと、当然観客席が多い施設のほうが、利用者数は多くなってしまふと、見え方としてまあそれでも比較できるといえば比較できるので構わないといえば構わないんですが、ちょっと少ないほうの施設が、自分たちの施設が少なく見えると。</p>
小海委員	<p>ただ施設ごとには比べなくて、1個の施設で前年度とどうであったかが見えると。</p>
渡辺課長	<p>そうですね、過年度分と比べてってことですね。</p> <p>だから委員会の資料としてはちょっと他の施設との比較でどうしても見えてしまふのを嫌がるというか。</p>
澤井委員	<p>今の質問、本当は個別の所で言おうと思っていたのですが、大事なことなんですよ、アンケート調査は決まったアンケートのフォーマットがあるわけではないということですね。例えば尺度は4段階でとか、質問の文言とか、規定があるわけではなく指定管理者が自分で考えていると。</p>
渡辺課長	<p>大まかに、例えば施設の安全管理ですとか清掃状況ですとか、そういう項目は必ず聞いてくれと。そこはもうどの施設もだいたい同じ項目になっています。</p> <p>ただ、やっぱりこの項目があつたほうが良いとか、この項目はうちの施設にはあまり関係がないというところは落として、そういうことはあります。</p>

<p>澤井委員</p>	<p>たぶん、それは指定したほうが良いと思います。</p> <p>調査方法と文言は全部共通のものにした方がいいと思います。そうしないと施設間で比較ができず、評価資料としては不十分です。例えば調査方法も、誰に聞いたか、どうやって収集したかによって結果が全く変わってきます。</p> <p>あと、たとえば一部の施設さんで、あ、辰巳かな、一般の利用者と団体の利用者と分けて、一般利用と団体利用の方のアンケートをちゃんと区別して出しましたが、団体利用者の方が厳しい評価をしているんですね。なぜかという団体で入ってくる方は競技としてやっている方が多く、いろいろな水泳場を利用しているので見方が厳しくなります。一方で、普通にレクリエーションとか健康増進のために利用している方はゆるい評価をするとか、サンプルによって全く評価が変わってきます。それからサンプル数ですが、100 ちょいとか 100 いかないぐらいの数で出してくるところがいっぱいありますけれども、ちょっと信頼性としてはかなり低くなると思います。</p> <p>で、先ほど先生がおっしゃったように、「やや満足と」「非常に満足」で 90%以上というのは、これはもう調査としては成り立っていないのかな、と思います。いわゆる天井効果というもので、じゃあどうするかというのはちょっと考えないといけない。今回僕が資料を拝見した限りでは、アンケート調査はほとんど評価法としては不適切で信頼性がほとんどないと思いました。中には 500 以上サンプルを取っている、障害者スポーツセンターかな、ところもありましたが、若洲ヨット場などは 70 くらいしかありません。利用者が少ないという事情は分かるのですが、やはり調査としては信頼性に欠けるということになります。できれば都として調査方法やサンプル数を指定したほうが本当は良いのかなと思います。それが 1 点。</p> <p>もう 1 点は、お話を聞いていてちょっと気になったのは、僕も各施設の評価のところで意見で書いているのですけれども、1 万席ある、あるいは数千席ある東京体育館とか武蔵野の森のような、いわゆる観戦型のスポーツ施設と参加型のスポーツ施設では評価の基準を変えるべきですね。</p>
<p>澤井委員</p>	<p>100 席、200 席の施設、あるいは観客席のない施設、観客席のある施設を並べて比較するのは間違っていると思います。そもそも観客席のない施設はスポーツをする人のための施設で、1 万席や 5 千席ある施設、東京体育館や武蔵野の森スポーツプラザは、基本的には観戦者のための施設です。そうした 1 万席、5 千席あるところの施設で観客席を使わないようなイベントばかりをやったらダメだと思います。観客席のある施設は観客席を使うイベントをいっぱい入れてもらわないと困るんですね、基本的に。そのほうが「利用者」が増える、都民も含めて多くの方が利用されることになります。そこは評価そのものを区別していかないといけないと思います。現在は評価の基準の中に全く入っていないのですけれども、東京体育館と武蔵野の森、それから辰巳水泳場のような一定の規模の観客席のあるところについては、ちゃんとお客さんが来るイベントをちゃんとやっ</p>

	<p>ますかというのを本当は評価に入れないといけないと思います。</p>
丸山委員	<p>私は利用者の立場から評価をさせていただいてるのですが、今回は全く利用ができなくて困ったんですけども、今のお話で言いますとね、特に東京体育館は日本を代表する施設ですよ。ですから全国大会、もちろん競技種目もあるし、また競技というよりも楽しみの大会もあります。全国大会などは相当大きな施設でないといけないですよ。</p> <p>そこで、よく東京体育館とか、駒沢の体育館や室内球技場をお借りして、全国あるいは関東地区全体から集めて大会を行うことがあるんです。</p> <p>今のお話のように観客はいないんですよ。だけど多くの人が集まるので、小さいところではできないんです。</p>
澤井委員	<p>僕はプロの興行のことだけを言っているわけではないんです。大きな大会だと、親御さんとか友達とか見に来るわけですね。だから運動会でもいいんです。むしろ運動会みたいなのがいいのかもしれない。だからそういう、見る人が来るようなイベントを本当はいっぱいやるべきだと思います。そうしてスポーツを核にしてそういう人が一緒に集まる。そういう施設ですよ、観戦型スポーツ施設というのは。</p>
丸山委員	<p>ただまあ、プロは見るスポーツですけれども、するスポーツというのはせいぜい家族とか同じチームの関係者ぐらいしか応援に来ないんですよ。</p>
澤井委員	<p>でも参加者の方が数百人いれば、一人につき二人とかね。例えば子供の運動会であれば、僕の経験でも子ども一人に対して妻と僕と、おじいちゃんおばあちゃんがついてくるわけですね。そういう大会でもいいんです。いずれにしても、スタンドを全く使わない大会だけで埋められるっていうのはあまりよろしくありませんよ、ということなのです。規模が大きいから諸室を含めて大きな会場が必要というのも分かりますけども、それだけでも困りますよねと。</p>
澤井委員	<p>基本的にはスタンドのある施設なので、スタンドを使うイベントをなるべく多く誘致してもらいたい。どれだけスタンドがちゃんと使われているか、「する」だけでなく「みる」ことであっても利用してもらえば都民の便益になるわけなので、それはそれでちゃんと評価をしましょうということです。スタンドのある観戦型の施設と参加型の施設では目的が違うわけなので、違う観点で評価をしないと意味がないんです。</p>
渡辺課長	<p>そもそもやっぱり都立体育施設への考え方や説明する時の趣旨ですが、原則、澤井先生のおっしゃる通り、やっぱり国際大会ですとか国内大会、大きい大会が開ける施設ということで説明して作っております。ですから、そういう意味では、先生のおっしゃる通り、観客席が2万席ある施設だったら、2万入るイベント・大会、これを常時入れていくっていうのはその通りです。ただ、一方で、これは公立の施設なので、収益を目指してるだけの施設ではありませんので、まあ収益も目指しますが、それだけではないというところもありますので、広く、様々な競技の皆様、あるいは丸山先生もおっしゃいましたけど、大会ではなくてもレクリエーションで使っていただくことも同じようにやっぱり大切だという考え方</p>

	でございます。
澤井委員	<p>僕は収益を求めてほしいと言っているわけでは全くないです。さっきも言いましたけど、レクリエーションの大きな大会があったら、そしたら僕は、ぜひ家族を呼んできてくださいと。で、スタンドで応援しましょうと、そういうふうには誘導してもらえば良いと思います。別に、全部それで埋めろと言っているわけではないです。</p> <p>さっきおっしゃいましたけれども、観戦型の施設と参加型の施設で利用者数を比較すると、参加型の施設が嫌がるというのは、それはちょっと考え方が間違っていると思います。観戦型の施設だから当然観戦者も含めて評価しないといけません。データを取る時も観戦者と参加者を分ける必要があります。スポーツ参加者がこれだけ、観戦者でこれだけというふうに。当然、観戦型の施設では、観戦者はこれだけ集めようというふうになるんですよね。そうしてちゃんと評価すべきだと思うんです。そこは観戦者の利用人数が多くないと観戦型の施設の意味がないんですよね。</p>
渡辺課長	やっぱり人気があるお客さんがたくさん来るようなスポーツしかやれないということにもなりますので。
澤井委員	いやだから何度も申し上げておりますが、そういうことを言っているわけではなくて。もちろんそれも必要ですよ。当然ながら。トップスポーツはある程度お客さんを入れてもらわないと困るだろうし。VリーグやBリーグでなくても、できれば運動会とか色んなスポーツ大会でも、見る方も呼んでもらえたほうが良いでしょう。その部分は別に評価する。観戦型の施設と、参加型の施設では別に評価すべきだということです。
鈴木部長	例えば東京辰巳国際水泳場でいえば、観客席5千ありますけども、例えば高校なり水泳大会とか色々友人・家族含めて関係者で、かなりいっぱいになってしまうということはあるんです。そういうことでも、そういう方々にご覧いただけるように観客席もあるということで、これは「観戦型」とまで限定しているというわけではないんですね。
澤井委員	東京辰巳国際水泳場がどういう位置づけなのかがちょっと微妙だと思うんですけど、ただ東京体育館と武蔵野の森総合スポーツプラザについては、観戦型の施設、アリーナですからね。
鈴木部長	武蔵野の森総合スポーツプラザにつきましても、地元、多摩における位置づけという部分もございまして。
澤井委員	すみません、そんな難しいことを言っているわけではなくて、アリーナで参加型のスポーツをやるなど言っているわけでは全くないです。今言っているのは、さっきおっしゃったのが、参加型の施設と観戦型の施設を、利用者で比較しちゃうとこっちが増えちゃうからっていう話をしたのですが、それは当たり前ですよという話をしてるわけで。お客さんが入るように作られた施設だから、お客さんとして入った分はちゃんと評価しましょうということをおっしゃっています。だからデータを取る時には参加者と観戦者、本当は分けて取るべきだと僕は思うんで

	す。
鈴木部長	例えば先ほどの、大会があった時に家族が来る、友人が来るというようなものは？参加者として？
澤井委員	<p>ではなくて、できれば観戦者としてデータを取るべきです。</p> <p>一般の競技団体のイベントで、それを分けてカウントするのは難しいかもしれませんが、競技団体であればカウントはできるはずなので、観戦者を分けてカウントしたほうが良いです。そうした団体で観戦者として友人とか家族が来るというのは、スタンドがある施設としては、それはそれで評価して良いと思います。</p> <p>そうしないと、その施設を最大限に有効活用したことになるんじゃないですか、ということです。</p>
鈴木部長	おっしゃっているのは、見るスポーツと言いますか、都民がスポーツを見る施設という意味合いから言ってどれだけ観戦、観客がたくさん来るようなものとして使われたかというところを、そこを評価すべきと。
澤井委員	そうです、評価すべきだと思います。アンケート調査で利用者进行评估するのであれば、当然、観戦者も含めてちゃんと評価するべきですよ。だって観戦者もその施設の利用者になるわけなので、それはすごく大事な評価点だと思います。
丸山委員	参加者を5千人集めると、選手はみんな観覧席しか行くところがないんです。それをやれなくなると使えなくなります。一度にフロアに入れるのはプレーヤー、審判員、本部役員など200人程度です。他の人達は観客席で応援するのです。また昼食は観客席で食べるのです。閉会式まで全員残って応援します。
澤井委員	僕はそんなことを申し上げているのではありません。
丸山委員	だから、誤解されます。その言い方だと。
澤井委員	いや僕はそういう言い方はしてないです。
丸山委員	プロのスポーツだったらそれは良いですけども、東京体育館にしる駒沢オリンピック公園総合運動場にしろ、都民が使える施設ですから、それがダメだってことになると困ります。
澤井委員	ダメとは一言も言ってないです。例えば午前から午後にかけて1日やるイベントで、参加者が終わった後で違う人の試合を見ましょうってスタンドに行く、それはそれでOKなんです。そういう話を僕はしています。それと一緒に当然やっている人の家族や友人が来たら、スポーツを中心にコミュニティが広がりますよね。スタンドがある良い施設なのでぜひ皆で見に来てくださいと。東京体育館でやるんだ、そんな良いところでやるんだったら皆で見に行きましょうとなって、皆来てくれる、それは良いですよ。それはそれでその施設を管理している方が運営者の評価にすべきだと思います。見やすい、気持ちが良い施設だとして観戦者が多く来てくれれば、それはそれで評価しましょうよという話を僕はしています。
丸山委員	だから都民の大会はできるんです。そういうのは。事実やっております。全国大会は無理です。北海道から沖縄から家族連れて来いなんて全く無理です。
澤井委員	えーと、そこまでは言いませんけども。

丸山委員	<p>だから誤解されます、その言い方だと。 私は利用者の立場で意見を申し上げます。</p>
澤井委員	<p>観戦者の立場もあります。アリーナのような施設だと興行する団体であれば観戦者の立場からも施設を見ます。そういう意見はすごく大事だと思うんです。</p> <p>例えばトイレの数はしょうがないとして、トイレがきれいかどうか、あるいは諸室ですよね。これは実際経験したことがあるんですけど、子連れの観戦者が子どもをケアするような部屋がない、授乳室もない、アメニティが少ないとか。そうするとなかなか観戦者の方は来づらいでしょう。</p>
鈴木部長	<p>ありがとうございました。他にはよろしいでしょうか。それでは9時48分からプレゼンに入りますので、それまで休憩ということにしたいと思います。よろしくをお願いします。</p>

## 指定管理者によるプレゼン、質疑【東京体育館】

指定管理者：公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

発言者	内容
事務局	<p>それでは指定管理者によるプレゼンテーションに入ります。プレゼン頂くお時間につきましては10分間ということで、時間厳守でお願いしたいと思います。プレゼン頂いたあとに質疑の時間を5分程とさせていただきますのでよろしくお願いいたします。プレゼンにつきましては残り3分ぐらいになるところで事務局から残りの時間のご案内をさせていただきます。また、10分経ちましたらベルを鳴らします。その時点で終了とさせていただきますのでよろしくお願いいたします。それではプレゼンテーションをよろしくお願いいたします。</p>
鈴木部長	<p>先生方には、この資料5、A4縦の資料がございますので、それをご覧頂きながらプレゼンをお聞きいただけたらと思います。</p>
東京体育館職員	<p>東京都スポーツ文化事業団事務局長で、東京体育館の館長をしております早崎でございます。本日はよろしくお願いいたします。委員の皆様方におかれましては、日頃から東京体育館の施設運営に関しまして、ご理解ご協力を賜りまことにありがとうございます。これより、東京体育館における、令和元年度の管理運営状況についてご説明をさせていただきます。お手元の「令和元年度の管理運営状況（東京体育館）」と題しましたA4一枚の資料に沿ってご説明させていただきますので、よろしくお願いしたいと思います。</p> <p>はじめに、上の欄でございます。施設・設備の保守点検でございます。</p> <p>東京体育館は、東京オリンピック・パラリンピックに向けた改修工事のため、平成30年7月から休館となり、引き続き令和2年2月からは東京2020大会組織委員会による大会開催に向けたオーバーレイ工事が開始されました。そのため、令和元年度は年間を通じて休館となっております。当グループは、東京体育館の施設管理者といたしまして、改修工事およびオーバーレイ工事の期間を通じて、工事設計業者や施工業者に対して既存設備の説明や工事の立ち合い、アドバイスをを行うとともに、綿密な工事調整を行い工事に全面的に協力してまいりました。</p> <p>また、工事中も施設の警備や既存設備の維持管理業務等が必要となることから、工事業者等ときめ細かな調整を行い、業務を的確に実施してまいりました。</p> <p>次に下の欄、施設の提供についてでございます。昨年度は、休館期間中でしたが、東京都及び大会組織委員会の施設利用により、10月に「車いすラグビーワールドチャレンジ2019」、11月には東京2020大会のテストイベントとして作られました「ITTF卓球ワールドカップ団体戦2019 TOKYO」が開催されました。この両大会の開催にあたりましては、出場選手が最高のパフォーマンスを發揮するとともに、観客の皆様が安全・安心かつ快適に観覧できるよう、主催者と緊密な連携体制を構築し、効果的で円滑な大会運営に全面的に協力いたしました。</p>

<p>施設職員</p>	<p>今年3月には東京2020大会の1年延期が残念ながら決定されたところでございます。本来、大会後にオーバーレイ工事の設置物を完全撤去した上で、今年の12月に施設を再開館する予定でございましたが、大会自体の延期となったことにより、オーバーレイの工事設置物を一部残置する必要が出てまいりました。当グループは大会延期の可能性が出てきた段階から、オーバーレイ設置物の撤去等につきまして、開館した際の安全性の確保や諸室の使用の可否、観客動線等の観点から検討を進めまして、都及び大会組織委員会と調整を行ってまいりました。</p> <p>続きまして、個人情報保護の取組でございます。個人情報保護の取組みとしては、毎年職員を対象とした個人情報保護研修を行っております。また、実際に個人情報を取り扱っている業務において発生し得るリスクについて具体的な検証を行う臨時研修を実施し、個人情報保護について一層の強化を図っております。</p> <p>次に環境配慮への取組についてでございます。これまで東京体育館では、大規模大会時などに、観客が出すゴミが十分、分別されていないため、資源の再利用がなかなか進まないという状況がありました。このため、昨年度開催した2つの大会において、施設側でゴミ箱を設置しないことで、観客にゴミの持ち帰りを促す運用方法を試行いたしました。その結果、ゴミの分別や排出量削減に一定の効果があることが確認できましたので、この方式をさらに精査しながら、再開館後の運用方法を検討して参りたいと存じます。</p> <p>次に、情報漏えい事故への対応でございます。当施設は、東京2020大会の競技会場となることから、サイバーセキュリティへの対策が必須となっております。このため、平成30年度に引き続き、警視庁や内閣官房とのセキュリティ対策に関する情報共有を行うとともに、両機関が実施する研修会や情報交換会に積極的に参加することにより、連携体制を継続しております。さらに、東京2020大会会場施設の管理者として、セキュリティ向上のためのサーバのクラウド化や、不正アクセスやデータ漏えいを防ぐためのネットワーク拠点へのUTMの設置等、サイバーセキュリティ対策を進めております。</p> <p>続きまして、防災への配慮・緊急時対策でございます。昨年度の休館期間中においても東京体育館の管理権限者、防火管理者として施設の防災管理を行い、現場の工事施工業者等と適宜情報交換を行いつつ、連携して防災管理に取り組んだ結果、事故なく管理することができております。また、新型コロナウイルス感染症対策に関しましては、感染拡大の初期段階から、手指の消毒やマスクの着用を徹底しており、職員はもとより、工事業者や組織委員会等、入館者全てに協力を要請することで対応に努めております。</p> <p>次に物品の管理についてでございます。東京体育館の保有する備品につきましては、随時保管状況を確認し、安全性等の観点から更新が必要なものについては、適切な事務処理及び廃棄手続きを行っております。また、購入にあたっては、東京都グリーン購入推進方針に則した調達を行い、多摩産材を使用したものを積極的に選定する等、都の方針に則った運用を行っております。</p>
-------------	---

施設職員	<p>続きまして、スポーツ振興事業の実施状況についてでございます。昨年度は東京体育館が改修工事および東京 2020 大会の準備のために使用できなかったため、東京武道館等に会場を移して、スポーツ振興のための取組みを継続しております。スポーツ振興事業では、子供から高齢者まで、また障害の有無や体力の程度に関わらず、誰もがライフステージに応じてスポーツに親しむための取組みや、アスリートの育成に寄与するための支援事業、指導者育成事業などを行っております。事業の内容は、前年度における利用者からの要望が高かった事業や、ジュニア世代、働き盛り・子育て世代、シニア世代、障害者スポーツといった、事業の対象者のバランス等を考慮して選定しております。残念ながら3月に予定されておりました1事業につきましては、新型コロナウイルス感染症対策のため中止となってしまいました。その他11事業については予定通り実施いたしました。</p> <p>最後に、利用者の満足度についてでございます。東京体育館では、利用者の利用状況や満足度を把握し、今後の事業展開に向けた基礎資料とするため、毎年、利用者満足度調査を実施しております。令和元年度においては、休館により団体利用・個人利用がなかったため、ただいまご説明したスポーツ振興事業の参加者に対する調査のみを行いました。調査の結果は、事業に参加した感想として、全ての参加者から「大変満足」または「まあ満足」との回答をいただき、満足度100%という結果を生むことができました。満足の内容としては、「事業の内容や指導について」満足と答えた方が87.9%と特に高くなっております。この調査結果を踏まえ、今後さらに利用者のニーズに合致したものとなるよう、事業内容を精査するなど、さらなる満足度・サービスの向上に取り組んでまいります。</p> <p>東京体育館の管理運営状況につきまして、雑駁ではございますが以上でございます。よろしく願いいたします。</p>
鈴木部長	<p>ありがとうございました。それでは只今のプレゼンテーションと、それから施設運営等につきまして、委員の皆様より質問がございましたら、5分程度でお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。</p>
澤井委員	<p>東京体育館と言いますと、観客席が6千席、最大で1万席、お客様の来るイベントがすごく多いと思うんですけども、観戦者に対する対応と言いますか、観る方に対する対応とか、そういうことはされているのでしょうか。</p>
東京体育館職員	<p>それは、コロナウイルスに関してでしょうか？</p>
澤井委員	<p>いえ、普通に。Vリーグの試合、あるいは大きな試合や、卓球もあると思いますけれども、お客さんが入っていますよね。つまりその満足度と言った時には「する」方を想定しておられると思うんですけども、「観る施設」ですので、観る方に対する対応とか、あるいはその利用団体の中には興行する団体も多いと思うんですけども、そういう団体さんからの要望への対応とか、そういうことは何かされているのでしょうか。</p>

東京体育館 職員	<p>基本的に一番、まず真っ先に対応を考えなければいけないのは、そのコンサートの主催者、大会なら大会の運営する人達と連絡を密にとっていくのが最大の眼目で、観客の性質とかが色々変わってきます。コンサートによって全く、若い子だけとかのこともございます。そういうことに対してちゃんと適切に誘導できるかとか、あと安全に、がまずは第一なので、入る時、また退場する時に1万人がどっと退場することがないように、近隣の警察とかとよく相談をしながら安全対策を図っているということはございます。また実際に、観る段階でどういような観客の視点に立って、基本は主催者側のほうで、うちの枠の中でどうやってやるかを考えるんですけども、私どもとしても協力できる、照明等でどういふうにすればいいのかとか、観客席のあり方とかを色々相談をしていきながら、できることはやっていくっていうのはあります。</p>
澤井委員	<p>前後に養生時間なんか色々要望はあったりするのでしょうか。</p>
東京体育館 施設職員	<p>一番きつい要望は、要は私どもは1日でも2日でも長く借りられるほうが貸出料が増えていくんです。ただ、利用者の方々にはできるだけ短い期間で、1日徹夜して設営したい、撤去したいと。そうするとお互いに無理がかかるし、駐車場とかなんかの問題もあるのですが、ただできる限り先方の要望は叶えていきながらやっていきたいと、特にコンサート系はそうなんです。</p>
澤井委員	<p>日本にとっては、アリーナスポーツにとっては非常に象徴的な施設なので、ぜひそういったところの対応で、スポーツ界を盛り上げていただければと。</p>
鈴木部長	<p>ありがとうございました。他には何か。</p>
丸山委員	<p>いつも色々利用させて頂きありがとうございます。ここのところちょっと利用できなかったものですから、昨年も申しあげましたけれど、船橋アリーナとか、さいたまアリーナを借りて大会等をやっているんですけども、1点は、東京体育館の利用申込みは、何年前からできるのでしょうか。</p> <p>それともう1点、東京体育館は日本を代表する施設ですし、また、アクセスも良いということで、会議を行う時も、東京体育館の会議室が空いておりましたらぜひお借りしたいと思っておりますが、その会議室を借りる場合は、何か特別な条件があるとか、例えばメインアリーナを使わなければ駄目だとかあるのではと思うんですけども、それをお伺いしたいです。</p>
東京体育館 職員	<p>東京体育館の施設の利用につきましては、正直に申し上げて国際大会ですとか全国大会等が行われますので、利用する時の前々年度の3月に利用申込みをしていただきまして、東京都からの利用調整を行いながら、できるだけ国際大会とか全国大会を優先するような形で決めております。</p> <p>その大規模な大会になりますと、プレスですとか選手だとか大会関係者が大変多くございまして、そのため、会議室も併せて利用してしまうというケースがほとんどでございます。ですから、会議室単体で利用するとなると、同じように前々年度3月です。直前まで空いていればということになるんですけども、会議室単体ですと、平日であれば借りられるケースは多いんですが、なかなか土日です</p>

	と正直厳しいかということでございます。
丸山委員	ありがとうございます。
鈴木部長	時間になってまいりましたが、他によろしいですか。
守泉委員長	先程、澤井委員からお話があって、ある所でアンケートを取りにいった場合に、先程みたいな話もあったので、主催者側のほうにアンケートを取って、それで関係者の観点からどうだとか、主催者側からからどうだっていう形のものを、情報を仕入れていくってというようなやり方を取っているような時もありました。今日ちょっと、あと2点ほどご注意いただきたいと思ひまして、1点っていうのは、工事の変更の部分ですけれども、ここに来て結構いろんな工事の変更っていうのが頻繁に出てくる、特にコロナの問題で工事の中断があった時に、業者さんとのトラブルっていうのがそこで増える状況なんですね。その対応する対策として、そういう状況に関しては、契約者側のほうからそういうことができる規程っていうのを、工事の請負契約書の中に盛り込んでおくっていうのは必要だろうと最近言われていますので、ちょっとそのへんをご注意いただきたい。それから2点目としましては、ゴミ箱の設置をしないってことですけれども、それはそれでいいんですけれども、その一方で駅に皆捨てていくっていう、周辺との関係でそれがうまくいっているのかどうかっていうところまでを確認していただければと思います。
鈴木部長	はい、ありがとうございました。それでは以上でございますので、指定管理者の方はご退出をお願いいたします。

## 二次評価の審議【東京体育館】

発言者	内容
守泉委員長	<p>では続きまして東京体育館の二次評価案について、事務局より説明をお願いいたします。</p>
渡辺課長	<p>はい、それでは説明させていただきます。資料につきましては、次第がついている資料一式の資料6をご覧くださいと思います。こちらの各委員の皆様方から評価をつけて頂いた二次評価案になります。東京体育館につきましては、Bと評価された方が3名いらっしゃいました。</p> <p>評価の項目としては、長年の管理実績に基づき、改修工事中にも関わらず安定的な管理が行われている、スポーツ施設が改修工事で使用できない中、セミナー系のスポーツ振興事業を確実に実施している、また、我が国を代表するスポーツ施設としての役割を果たしており、利用者に温かい対応を行っている。次にCと評価された方が1名いらっしゃいまして、評価項目としては、例えば、トレーニング室の運営方針の民間との差別化について明確にすべきという評価を頂いております。</p> <p>二次評価案の説明は以上でございます。</p> <p>それでは審議を、守泉委員長よろしく申し上げます。</p>
守泉委員長	<p>それでは東京体育館の評価について5分程度で大変なんですけれども、その前に私の分野のほうで財務についてちょっと簡単にだけ説明しますと、大きなほうの資料8のところに書いてあるんですけれども、今回の財務のところに関しては、全て、下のところに新型コロナウイルス感染症の影響についてというものを一文入れております。というのは、現在例えば大手企業の場合、会計監査においては急激な変化がある可能性があるもので、その部分に関して何かがあった場合は後発事象として、3月決算が終わってその報告書を出した後であっても、事業報告書に例えばその間に何か折り込むという形のものがあるものがあるんですね。ですから、随時そういう事がこれから起こり得ることがあります。</p> <p>今回もこの東京体育館の中ですと事業団＝代表団体のほうに関しては、賛否両論があったと思います。1つの方向としては、こういう利益を蓄えている団体は吐き出しなさいという方向がここ数年、東京都の方向としてあることはあるんですが、それでもマネジメントがそんなに上手くコントロールはできてない。</p> <p>もう一つ心配なのは構成団体の一つのスポーツ施設を運営しているジムのほうでして、こういうところって言うのは結構業種によって分かれている。最大手の所は未だに健全に上手くいっているところもあるんですけれども、ここの団体はもう既にコロナの影響のほとんど出ない、あまり影響のない団体でも税引き前で損失を出しているのと、それから減損損失を出している。</p>

<p>守泉委員長</p>	<p>つまり施設のところでキャッシュフローが回らないから、もうそのところは損失として落としたほうがいいですよというふうに監査上言われていて、落としているところがあって、かなりそういう面で業績の影響がここにきて大きくなっている。ですから、今年に関してはかなり厳しい状況だなと思われまます。私のほうからは以上です。</p> <p>続いて評価に関してちょっとご説明しますと先ほどからお話があったように、東京体育館については3名の方がB評価、1名がC評価となっています。評価を調整させて頂くにあたって、まずは、C評価とされている澤井委員からちょっとご説明頂ければと思います。</p>
<p>澤井委員</p>	<p>これはあの、先程も申しましたけれども、これでも、たぶん、事業者さんというよりは都の方をお願いしたいところがあるんですけども、先程お話にもありました観戦型の施設としての評価というのをきちんと入れておいて頂きたい、というのが1点。先程、守泉先生がちょっと言いましたけども、アンケートとか聞く場合も、団体のほうからきちんとヒアリングして利用しやすかったとかですね、そういったものも入れてくれると評価はしやすいなあと。</p> <p>普通の参加型と同じように並べて比較するっていうのはちょっと無理があり、施設の性格上正しくないというふうに思います。それがあってCにしておいたというのがあります。今お話を聞いたら、やっぱりちゃんと対応していただいている。大変だとは思いますが、対応して頂いているということでBに戻してもいいかなとは思っています。</p> <p>それから、もう1個ちょっと気になっているのは、トレーニング施設の話でいくつがあるんですけど、ああいうところの運営についても、事業者さんというよりは都の方をお願いしたいことなんですけども、結局フィットネスクラブって、民間業者が多くある中で、こうした公共施設におけるフィットネスクラブみたいなトレーニングジムというのとは一体どういう意味があるのかということ、方針というか指針みたいなのをちゃんと設けてやったほうがいいのではないかとことです。フィットネスクラブがないような地域にあれば、それはそれで意味があるんですけども、東京体育館みたいな都心の駅近にあって、まわりに民間のフィットネスクラブがたくさんあるようなところの公共のトレーニング施設というのは、これは一体何のためにあるのか。漫然と運営しているように見えてしまうと、ただの民営圧迫ともみられかねないということもあります。立地が良いだけに利用される方も多いようなので。</p> <p>ただ、これをティップネスさんがやっているというのは、すごく悩ましいと思うんですね。こんな立地のいいところでやってるのかというのはあると思うんですけど、それならばそれで施設の存在意義みたいなものをある程度きちんとしておいたほうがいいのではないかと思います。</p>

澤井委員	これはやっぱり事業者さんというよりは、都のほうできちんと事業者と話をしながら、こういう風な方針でやるとか、都の公共施設としての意義みたいなものをきちんと考え直したほうがいいのではないかなと思います。あと最後もう1点、都のホームページの情報量が少なすぎるので、もうちょっと工夫したほうがいいのではないのでしょうか。どの施設も SNS で発信はしていて頻繁に更新もしていてその点は評価したいと思いますが、ホームページは情報量として施設の写真など情報量がすごく少ない印象があったので、そこらへんは改善を求めたいと思います。結論としては B 評価で良いと思います。
守泉委員長	例えば評価の部分で、この現行の制度のところの枠組みの中でいった場合は、どこの部分のところに評価の問題があるということですか。
澤井委員	事業効果のところですかね。あとはアンケートについて、利用者のアンケートがあると思うんですけど。アンケートの回収数が少ないんですね東京体育館は。まあ、コロナがあったので、やろうと思った時にはできなかったということであればまあしょうがないとは思いますが。
守泉委員長	評価に関しては他の方は B ということで、C はお一人ということで、評価をどうするかということと、それから評価を変えないとしても、この問題点の部分に何らかの影響を与えるという考え方もあると思うんですけど、その辺はいかがですか。
澤井委員	これは、どうやったらいいのか分からないんですが、どういう風に先方に伝えるのかって言うのは、この評価通りにやるとすると、今言ったことは中々伝わらないので何かしらコメントとして伝えて頂けるのがいいのかなあとと思いますけれども。僕は別に名前出してそのまま出してもらって全然構わないんですけども、ここに一応質問とか結構細かく書かせて頂いたので。 ちなみに、事前の質問を下に書きましたけど、これは事前に事業者に伝えてあるわけではないんですね。
事務局	伝えてはいないです。
鈴木部長	澤井先生のご指摘は、大部分は都側で考えるべきことだと思います。
守泉委員長	個別にいろんなお話を聞きたい部分はあるのですが、時間の関係もあるので、ここのところは、評価はこのままにするとしても、コメントのところでも今、澤井先生がおっしゃった部分を後で付け加えていくということと、それから、今後のところで事業効果の部分をうまく活用するか、それともここの部分の内容を少し変えるかして、そこの部分で、きちんと評価を入れていくということでしょうか。
守泉委員長	時間がだいぶかかってしまったんですけど、ただいまご意見を頂いた内容につきまして、評価を一次評価通りという形でさせて頂ければと思います。 ご意見ございますでしょうか。では、東京体育館に評価は B ということでお願いします。
鈴木部長	はい、ありがとうございました。

## 指定管理者によるプレゼン、質疑【駒沢オリンピック公園総合運動場】

指定管理者：公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

発言者	内容
鈴木部長	<p>それでは続きまして、駒沢オリンピック公園総合運動場のプレゼンテーションに進みたいと思います。それでは指定管理者の方、入室してください。</p>
事務局	<p>それではよろしいでしょうか。指定管理者によるプレゼンテーションを行いたいと思います。プレゼンいただくお時間につきましては10分間ということで、時間厳守ということをお願いしたいと思います。10分間プレゼンいただいた後に質疑の時間を5分ほど取らせていただきます。プレゼンにつきましては残り3分くらいになりましたところで事務局から残りの時間の案内をお見せいたします。</p> <p>また、10分経ちましたらベルを鳴らしますので、その時点で終了とさせていただきます。それではプレゼンテーション、よろしくお願いたします。</p>
駒沢オリンピック公園総合運動場職員	<p>それでは早速でございますが、A4の資料、「令和元年度の管理運営状況」に基づきまして、確認事項ごとに説明させていただきます。</p> <p>まず大項目「管理状況」の中項目「適切な管理の履行」の確認項目施設・設備の保守点検についてです。私ども東京都スポーツ文化事業団では、利用者の安全安心・快適性を確保するために、長年培ってきた経験とノウハウのもと、長期的視点に立って施設設備の維持管理を実施しており、老朽化の状況等を踏まえ、令和元年度も都と緊密な連携により、第二球技場及び補助競技場の人工芝補修、トレーニングルーム空調機修繕、陸上競技場シャッター更新等を実施いたしました。</p> <p>次に「施設の提供について」ですが、優先受付における緊密・適切な利用調整や、スポーツ団体への働きかけ等により、全日本選抜レスリング選手権、全日本フェンシング選手権、全日本ダンススポーツ選手権、全日本総合バドミントン選手権、全国高等学校サッカー選手権大会等、多様な全国規模の大会が数多く開催されました。</p> <p>次に中項目「安全性の確保」の確認事項「施設の設備の安全性の確保」についてです。私ども事業団では、毎月1回、安全点検パトロールを実施しておりますが、これは事業団職員だけではなく、コンソーシアムの一員で建物維持管理業務・清掃業務等を担当する、株式会社オーエンスや、公園部分を管理する（公財）東京都公園協会等の職員と一緒に、各施設および園内を巡回し、問題箇所の早期発見や、各施設の特性を共有し、利用者への危険性を未然に防ぐことを目的として行っているものでございます。</p>

駒沢オリン  
ピック公園  
総合運動場  
職員

また、関係団体実務代表者による「連絡調整会議」を毎月1回実施し、一体的運営を確保するとともに、体育館・屋内競技場の木製床については、メンテナンス方法の外部研修を受講した職員が、より専門的視点から床面の状況を確認し、また用具の保全・運用方法等について日々のチェックを行う等、安全・安心・快適な利用に向けて普段の取組を行っております。

次に確認事項「防災への配慮・緊急時対策」についてです。公園管理者と合同で実施する防災訓練や、第三消防方面本部との合同での爆発テロを想定した訓練の他、昨年は新たに消防と地元自治会との合同防災訓練を実施しました。

また、AEDの全施設配備や、全職員が救急救命講習を受講の他、都から支給される帰宅困難者用備蓄品の保管・管理に加え、独自に食料・飲料水・救急セット等、備品を確保する等、不足の事態にも迅速かつ的確に対処できるよう、常日頃より万全を期しております。次に大項目「事業効果」の中項目「利用の状況」について説明させていただきます。

まず個人利用者数ですが、令和元年度のトレーニングルーム個人利用実績は、表の一番右側、204,221人でした。前年度実績222,701人と比較し、18,480人、8.3%の減となっておりますが、これは新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、令和2年2月27日から休館したことによるもので、休館までは前年度比100.2%と、過去最高の利用実績となっていました。これは、これまで利用者要望調査等により営業時間の変更や、設置希望の多いマシンへの入れ替え、マシン配置の工夫など、利用者の需要に見合った対応を継続的に行っていること、また、公園のジョギングコースを利用するランナーのためにランニングステーションの機能を備えていること等によるものと考えております。

次に団体利用稼働率ですが、令和元年度の体育館、屋内球技場、第一球技場、第二球技場、補助競技場の5施設の平均稼働率は89.2%でした。平成30年度より4.2ポイントの減となっておりますが、これも新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるもので、令和2年2月後半から各イベントが中止となり、3月はほぼ実質休館状態となっております。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響がまだなかった令和2年1月末までの団体利用稼働率は、表の下段に参考として表記させていただきましたが、5施設平均で前年度比0.3ポイント増の93.7%となっております。次に中項目「事業の取組み」に関して、スポーツ振興事業及び自主事業の実施状況についてです。本事項については、前年度よりコンソーシアムの一員である一般社団法人東京都レクリエーション協会や、株式会社オーエンスが実施主体として、新たな事業を立ち上げる等、スポーツ振興事業では「駒沢ジュニアサッカースクール」等22事業を、また、自主事業では「ジュニアベースボール大会」41事業、計63事業を、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により一部中止または中止となった事業がございますが、それぞれ計画通り実施いたしました。

<p>駒沢オリンピック公園 総合運動場 職員</p>	<p>次に「サービス向上に向けた取組」ですが、12月29日から1月3日までの休館日にも、大会主催者の要望を踏まえて施設を貸出す等、利用者サービス向上の取組みを進めるとともに、オリンピック記念塔のライトアップを行い、東京2020大会やラグビーワールドカップ2019<sup>TM</sup>日本大会の気運醸成に努めました。</p> <p>次に「利用者ニーズの把握」ですが、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者満足度調査は団体調査のみ実施となり、また、利用者懇談会も書面による開催となりましたが、引き続き要望等の把握に努めるとともに、利用者からの要望に応じ、トレーニングルームのシャワールームに暖房機能を追加したり、屋内球技場や硬式野球場に冷水器を設置する等、必要に応じてきめ細かく対応しております。最後に、「その他 公園との連携協力、大規模工事への対応」です。駒沢オリンピック公園及び駒沢オリンピック公園総合運動場では、現在、スポーツ施設部分と公園部分の管理主体の異なる、二元管理となっておりますが、それ故、管理主体間の連携は非常に重要なことと認識しております。実務担当者間では、毎朝打合せを行い、情報共有を図るとともに、警備業務では施設ごとに個別に警備を行うのではなく、公園全体を一体として警備することで、園内全体の治安維持による事件・事故を未然に防止する等、業務の効率化と費用の削減を図っております。また、大規模工事への対応として、硬式野球場の増築改修工事について、東京都や施工業者、公園管理者、競技団体等と密接に連携しながら工事や再開に向けた調整を行い、令和2年8月に再開を行いました。</p> <p>また、これらに加え屋外非常用発電設備設置工事や、弓道場外周塀改修工事、体育館大規模改修に向けた準備、調整などについても、全面的に協力いたしました。以上、公園との連携協力については、大きな課題と認識し、これからも連携を密にし、管理運営に努めて参る所存でございます。</p> <p>以上、雑駁ではございますが、説明は以上でございます。</p>
<p>鈴木部長</p>	<p>ありがとうございました。それでは只今のプレゼンテーションにつきまして、ご質問があればよろしくお願ひいたします。5分程度でお願いいたします。</p>
<p>丸山委員</p>	<p>いつも施設を利用させて頂きありがとうございます。屋内球技場をお借りすることがあるのですが、昨年気付いたんですけど、今、雨が非常に続いておりますが、昨年伺ったら、雨漏りの話と、それから裏から水が流れるっていうような話も伺って、ちょっとびっくりして、全くそういうことを気にしないで使わせていただいていたものですから、それは改善されたんでしょうか。それとも全く変わってないのでしょうか。</p>
<p>駒沢オリンピック公園 総合運動場 職員</p>	<p>まず雨漏りについてですが、確かに開設当初、ある程度の雨漏りがありました。ただ、その都度東京都のほうとお話をして、実際にはシートを設置して受けたりとか、下に落ちないようにしたりするとして、だいぶ雨漏りっていうのはなくなってきております。ただ、正直申しまして、前からというところ、そうではなくて、たまに、湿度の関係とか色々あるようではございますけれども、その都度東京都のほう</p>

駒沢オリンピック公園 総合運動場 職員	と連携して対応しております、ご利用される方への、少しは利用者にご迷惑かけた部分もある程度はありましたが、今はそういうことがないような状況になっております。 あと、水につきましても、周りから水が流れ込むということが当初あったようなのですが、止水板を準備して、例えば台風が来るという日は事前にそういうものを設置して、流れ込まないようにしたり、施設に水が流れ込むということはないという状況でございます。
守泉委員長	今の質問にちょっと付け加えさせていただきますと、確か、雨漏りがするっていうのは、新しく作った施設のところですよね。あれが当初設計の問題とかがあって、それで初期不良ということで、それに関する対応ということでよろしいでしょうか。
駒沢オリンピック公園 総合運動場 職員	はい。確かに吊り天井であったり、設計上の問題もあるようなんですが、基本的には、今も施工業者のほうで対応していただいている状況でございます。
鈴木部長	他に何かあるでしょうか。
澤井委員	人件費が、計画から年間2千万くらい少なくなっているんですけど、これは理由は何かあるんでしょうか。コロナ休業とかが関係しているのでしょうか。
駒沢オリンピック公園 総合運動場 職員	そういう訳ではなくて、実際の計画と配置されている人の違いとかで。
澤井委員	管理費を見ると、凄い計画と実績がピッタリ合致していますが、人件費だけが乖離しているんですね。大事なのは、働かされている方の待遇がきちんとなされているかというところで。気になるのは、コロナ休業で開館日が減らされた分、給料を払わないということで、他社で問題になっていることもありますけれども、働いている方の待遇にそういうことがないかどうかということなんです。
駒沢オリンピック公園 総合運動場 職員	今お話があったコロナ休業が、令和2年4月・5月とありましたが、それらについては、オーエンスとか、実際に業務を行っているところが、きちんと休業補償はお支払いしているところでございます。
澤井委員	ありがとうございます。
鈴木部長	それではお時間ではございますが、他にはどうでしょうか。 はい、では以上でございます。どうもありがとうございました。

## 二次評価の審議【駒沢オリンピック公園総合運動場】

発言者	内容
守泉委員長	<p>続きまして、駒沢オリンピック公園総合運動場の評価案について事務局よりご説明をお願いいたします。</p>
渡辺課長	<p>委員の皆様から事前に頂いた評価案を説明したいと思います。まず、Bと評価された方が3名いらっしゃいます。評価項目としては、団体稼働率で例年稼働率が低い陸上競技場と軟式野球場の稼働率が向上した。エクササイズ系の自主事業を開催して参加者を増やしている、という評価を頂いております。</p> <p>また、Aと評価されている方が1名いらっしゃいまして、理由としては、公園管理者と連携して、施設管理に努めているというところでございます。それでは、審議を守泉委員長、よろしくをお願いいたします。</p>
守泉委員長	<p>今お話がありましたように、駒沢オリンピック公園総合運動場については、3名がB評価、1名がA評価になっております。</p> <p>評価を調整させていただくので、A評価をされている丸山委員にお話を申し上げます。</p>
丸山委員	<p>私、Aにしたのはですね、昨年までずっと使わせて頂いていたのに、全く気がつかなかったんですけど、雨漏りだったり水はけが悪くて、職員の方がみんなで作業しているというのを伺って、これはちょっと努力点をあげなければというんで、Aにつけたのですが、まあ、今伺ったらだいぶ落ち着いてきているみたいなので、Bに戻してもいいかなって思います。以上です。</p>
守泉委員長	<p>私はこの、できたばかりの施設の人に、その時に説明を受けたのが、設計の不具合があって、そこから雨漏りが。できたばかりなのに、それで、おっしゃった通り、事業団のほうで対応して、業者さんと交渉して、色んな対応をやっていったってケースがあります。それから、メインの部分の水漏れっていうのは、実はしょっちゅうあるんですけども、で、施設に水が流れ込むことがよくあるんで、常に土のうを用意していて、雨が振りそうな時にはすぐに土のうで、それで中には入らないようにしているという応急措置はやりつつ、ここにあるように対応しているんですけど、まあ、そうは言っても、どのような形でやるのか、状況を考えないと、そこは非常に大変なんだと思います。ですから、そういう面ではおっしゃった通り努力をして、それ以外の苦情対応に対しての努力って非常に多いので。</p>

丸山委員	<p>あそこは、スポーツ施設も色んな施設があつて、それから公園の管理者と、かなり共通理解で一緒にやっております、伺ったらかなりものすごく大事な点だと思います。スポーツもオリエンテーリングとかウォークラリーとか、公園そのものの競技もあるので、それが非常にうまくいっているのはやっぱり普段から公園管理者と一緒にあって対応しているということがよく分かります。</p> <p>そんなことも含めてAかと考えたのですが、皆さんの考え方もほとんどBのようですので、Bでいいかなとは思いますが。</p>
守泉委員長	ほかに今のお話に対してご意見はありますか。
小海委員	昨年視察に行ったんでしたっけ。何か記憶が飛んでるんですけど。その前の年ですね、その時に雨漏りの話をしたんですよね。
澤井委員	<p>まあ、そういうところは評価してあげたい気持ちもあります。</p> <p>ただ、難しいのはそこを評価しちゃうと、そこをやるようにしなければいけない、ということもあつたりしてですね、まあちょっと微妙なところもあります。</p>
守泉委員長	他にはご意見よろしいでしょうか。
小海委員	今回、S・A・B・Cでしたっけ？去年までは、S・A+・A、記号が変わったことによって印象が変わるので、Bだとあまり良くないと思ってしまうこともあるので、皆さんAにしたいんですけど、なんかBでいいのかなという。去年だとAだったんですよね。
澤井委員	<p>これで言うと、去年のAが今年で言うとB。</p> <p>それでみんなBになっているんですね。</p>
守泉委員長	先ほど先生からあつたんですけど、国の独立行政法人の評価では標準がB、ですからAというのは良い評価だつていうのがあつて、そういうことを加味した形で、こういうふうになっているんですけど、まあ今のお話で、丸山委員のほうからもこの形でもよろしいというお話がありましたので、Bということでもよろしいでしょうかね。じゃあそれで、Bということを決めさせていただきます。
鈴木部長	はい、ありがとうございます。

## 指定管理者によるプレゼン、質疑【東京武道館】

指定管理者：公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

発言者	内容
鈴木部長	<p>続きまして、東京武道館のプレゼンテーションに進みたいと思いますがよろしいでしょうか。それでは指定管理者の方、入室をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは指定管理者によるプレゼンテーションを行いたいと思います。プレゼンいただくお時間については10分間ということですので、時間厳守ということをお願いいたします。10分間プレゼンいただいた後に質疑の時間を5分ほど設けてございます。プレゼンにつきましては残り3分くらいになりましたところで事務局から残りの時間をご案内いたします。</p> <p>また、10分経ちましたらベルを鳴らしますので、その時点で終了とさせていただきます。それではプレゼンテーション、よろしくをお願いいたします。</p>
東京武道館職員	<p>東京武道館館長でございます。今日はよろしくをお願いいたします。当館の管理状況につきまして、お手元の資料に基づきまして、確認項目ごとにご説明させていただきます。</p> <p>まず、大項目「管理状況」、中項目「適切な管理の履行」のうち、確認項目「施設の提供について」でございますが、東京武道館は武道の普及・振興を図る都の中心拠点、武道振興の拠点施設であることから、各種武道の全国大会・関東大会等の、大規模武道大会について、各武道団体との綿密・適切な利用調整を行いまして、多くの大会を開催することができました。さらに、当館を初めてご利用になる団体に対しましても、入場動線や選手待機場所等、あるいは競技備品等の貸出等、主催者と綿密な打合せを行い、円滑な大会運営に向けてのサポートに努めてまいりました。その結果、選手が持てる力を最大限に発揮し、観客が快適に観戦できる質の高い大会の開催に貢献してきたものと自負しており、また、主催者団体からも高い評価を頂いております。</p> <p>次に「施設・設備の保守点検」のほうでございますが、総合武道施設でございます当館の各道場は基本的には素足での利用を前提といたしております。床が木製で作られております大武道場、第二武道場、あるいは弓道場につきましては、開館前の床清掃時や利用終了後の点検、毎週月曜日に複数の職員による目視点検を行うなど、床面の損傷について最大限の注意を払っております。損傷等を発見した際には、状況に応じまして、床板の研磨・交換・張替などを適宜実施いたしまして、床の維持管理に努めているところでございます。</p>

<p>東京武道館 職員</p>	<p>また、畳敷きでございます第一武道場につきましては開館前の日常清掃の際に除菌スプレーを噴霧する等、清潔な状態を維持するよう努める等、安全・快適な利用を実施するために常に適切な状態の維持に努めております。さらに、館内スタッフによる連絡会を毎月開催し、会議終了後メンバー全員で施設巡回を行う等、定期的な情報交換・共有に努めまして、不具合が生じた場所の早期発見、修繕等、安全・安心・快適な利用に向けて不断の取り組みを行っております。</p> <p>施設の工事といたしましては、平成元年度の開館時のままとなっております弓道場の一部、初心者用の巻藁練習場の床でございますが、こちらにおきまして釘の浮き上がりによる利用者事故が発生いたしましたため、急遽、床の張替え工事を当該年度中に実施いたしました。それ以外には地下駐車場の泡消火設備の点検工事を実施しております。なお、今年度はコロナ感染防止対策を徹底する上で、各道場の利用団体等の入れ替え時に綿密な消毒作業を実施しておりますことも付け加えさせていただきます。</p> <p>次に中項目「安全性の確保」、確認項目「防災への配慮・緊急時対応」でございますが、昨年10月12日に近年では最大級の超大型台風19号が関東に接近いたしました。当館の近隣を流下しております1級河川荒川が氾濫危険水域に達する等、足立区民60数万人に対して避難指示が出されることとなりました。このため、足立区が用意した避難所に住民が多数押しかけ満杯状態ということで、急遽足立区さんのほうから、当館を避難所として開放してほしいというご要請をいただきまして、第一武道場及び第二武道場を避難所として開放させていただきました。当館の位置もハザードマップ上では浸水危険箇所に位置しておりますが、台風接近の情報を受けまして、止水板の設置や土のうの配備等、早期に防災準備を行いまして、スタッフも待機体制で臨ませていたことで、スムーズな対応が可能となったものでございます。また、2020大会で、これは延期になってしまいましたけれども、空手の練習場となりますことから、地元の綾瀬警察署さんと協議を詰めまして、テロ対策訓練を実施しようということで計画いたしました。内容的には炭疽菌をばらまかれるというような内容での訓練でしたが、今年度早々に実施する予定でございましたけれども、新型コロナウイルス感染症の関係で現在実施の日程が立っていないという状況でございます。</p> <p>次に大項目「事業効果」の中項目「利用の状況」に関してご説明させていただきます。まず確認項目「個人利用者数」ですが、トレーニングルームの年間個人利用者数は7万6千余りと、新型コロナウイルスの関係で3月中を閉館といたしておりましたにも関わらず、昨年に引き続き7万人を突破いたしております。これは従来から行っておりました利用状況のTwitter配信やポイントカードの導入、レディースデイの実施など、様々な取り組みに加え、令和元年9月からトレーニングルーム専用のホームページを開設いたしまして、利用者のニーズに則したより詳細な情報を提供してきたことがあると思います。</p>
---------------------	--

<p>東京武道館 職員</p>	<p>次に確認項目「団体利用稼働率」でございますが、令和元年度の大武道場の稼働率は85.1%となっております。これは新型コロナウイルスにより大規模イベントの自粛要請が出されたことで、3月分はほとんどキャンセルとなった結果でございます。ご予約いただいた時点では前年度を上回る、過去最高の数値を記録する状況でございました。この好調な予約状況の背景といたしましては、優先受付での綿密な利用調整や、大規模大会の開催による認知度の向上、あるいは定期的利用団体への施設空き情報の発信、学校運動部活動、チーム・サークルへのPR等、これまでの継続的な取組みが徐々に効果を現してきたものと考えております。なお、東京体育館等、他の施設の改修に伴いまして代替会場としてのご利用も一部限定的なものであり、他の施設からの振替え止まりではないものと分析いたしております。</p> <p>次に中項目「事業の取組」のうち確認項目「スポーツ振興事業及び自主事業の実施状況」につきまして、スポーツ振興事業では武道の普及・振興に努める上で、武道系部活動・合同稽古等の青少年向け武道教室を、また初めての武道体験といたしまして、子供や高齢者が武道に親しむことができる機会を提供する等、33の事業を予定しておりました。しかし新型コロナウイルス感染防止のため、「障害のある人のはじめての武道体験」等、5つの事業を中止するとともに、青少年広域武道稽古等、10の事業での3月の開催を中止いたしました結果、年間の参加者数は9,054名と、昨年を1,000名ほど下回る結果となりました。自主事業では「有名選手指導者ふれあい事業」や「U-18将棋スタジアム」、「ジュニア囲碁パーク」等、3事業を実施し、ほぼ予定通りの1,640名の方々に、武道だけでなく伝統文化に親しむことができる機会を提供して参りました。また、スタジオプログラムを中心とした55メニューを1,689回実施し、日常的な運動実践の場として好評を得るなど、スポーツ実施率の向上に寄与しております。「体育の日記念事業」を令和元年10月14日に開催し、延べ7,300近くのご来館を頂きました。先程申しました超大型台風19号が12日、13日と襲ってまいりました関係で当初は開催が危ぶまれた中での開催でしたが、武道館前広場にお子様向けのふわふわ遊具を設置したことや、ゲストにシドニーオリンピック柔道競技メダリスト、あるいは全日本少年少女空手道6連覇の空手家を迎えたこと、あるいはオリンピック・パラリンピックの一部競技をバーチャルで体験するコーナーを設ける等、様々なメニューをご用意したことで、その日の午後に台風の記憶を呼び覚ますような急な雨がございましたけれども、リピーター率は5割を超えるというような地域のイベントとして定着してきたものと考えております。</p>
---------------------	---

東京武道館職員	<p>次に確認項目「サービス向上に向けた取組」でございます。昨年度の5月からの2か月間、トレーニングルームの開館時間を1時間半早め、7時半からとする、早朝開館を試行実施いたしました。ご利用いただいた方々から好評を頂いておりましたが、ターゲットとしておりました働き盛り世代の就業前利用というものの増には直接つながってこず、コスト面などで課題が残る結果となっております。トレーニングルーム関連といたしまして、冷水機を車いすの方にもご利用いただけるような機種に変更させて頂いておりますし、また、武道館の施設のご利用の促進を目指し、施設の魅力やイベント情報をTwitterで発信する取組みをいたしております。</p> <p>&lt;終了の合図&gt;</p>
小海委員	<p>利用状況に関してお伺いしたいのですが、ここに出ているトレーニングルームの数字と、稼働率が出てるんですが、昨年度もちょっと気になって、こう数字が上がって大武道場とかすごい使われるようになったなっていう感じが強いんですが、これは例えばトレーニングルームに則ったときに、今7万7千とか、これ、受入体制とするとどれくらいまで可能なんですか。例えば8万人、9万人、10万人とか。</p>
東京武道館職員	<p>そういう時点というかですね、そうなりますと、だいたい今実績値として65名とか、そんな瞬間もありますので、だいたいマシンの数とか、その他レイアウトですね、あとフリースペースなんかも設けて、だいたいそれぐらいがマックスというふうな認識をしています。</p>
小海委員	<p>年間でどれくらいというのは。</p>
東京武道館職員	<p>だいたい8万人くらいを想定しています。</p>
小海委員	<p>もしそれより増えると、ちょっと対応できないと。</p>
東京武道館職員	<p>あとですね、東京武道館のトレーニングルームのご利用の動態を3年前くらいにしっかりと年齢別・時間帯別と取ったことがあるんですけども、比較的時間帯が分散されて午前中ですとか、午前・午後・夕方・夜と、各年代層で、もちろん午前中は高齢者の方が非常に多いんですけども、午後から夕方、夜にかけては若年層の方に非常にご利用いただいたりとか、比較的、エリア的には東京体育館と比較しますと、年齢的にも分散されて、かつ時間帯ごとに分散されています。ということで、今実際コロナ禍にありますので、瞬間動態で今30人というふうに、通常のマックスからしたら半分以下くらいに、今動態でコントロールしているんですけども、比較的分散して利用される傾向に東京武道館はございますので、だいたい8万人を目処に動態を見ながら、時間帯別で混雑が、例えば朝に集中するとか、夜にものすごい集中するんだというようなことがあれば、時間帯別の動態でコントロールする。そんなことを考えつつ、8万人を1つの目安にはしながら進めていければいいと、そんなふうに思っております。</p>
小海委員	<p>もう1点あるのですが、スポーツ振興事業と自主事業に関して、頂いている資</p>

	料によると、多分昨年度、平成30年度と令和元年度が、ほぼ同じ事業が行われているように見えるんですが、これはもう固定してっていうか、これ以上増やすとか入れ替えるっていう予定はなかったということですか。
東京武道館職員	種目的には各武道団体様と準備しながらですね、こういった種目をやっていこうよとか、そういうことで組み立てておりますので、急に変わるということは考えておりません。ただ、やっぱり利用実績が低迷してくると、やはり武道団体様とも協力しながら、やり方を変えていくあるいは競技種目を変えていくというようなことも検討をいたします。
小海委員	ありがとうございました。
丸山委員	昨年伺ったら、中学校の運動部活動にも活用されているということでしたが、武道以外の種目も使われることがあるのでしょうか。
東京武道館職員	大武道場のご利用では、基本的には武道系を優先してございますけれども、最近では、卓球ですとかバレーボールとか、特に今コロナの危機になってしましまして、武道は一切大会ができない状況になってございます。そんなことで、寂しいことに今現在は毎日がバレーボールか卓球しか、ご利用いただけていない状況です。
東京武道館職員	あとは、学校の運動会とか、そういったものが多いところでは使われてございます。変わったところでは、ワンちゃんたちのトリミングっていうんですか、毛をうまく繕うような、そういったものの大会ですとか、そんなものにも利用されています。
丸山委員	その場合は床を養生するのでしょうか。
東京武道館職員	養生してやっていただいております。
鈴木部長	それではお時間となりましたので。ここまでとさせていただきます。ありがとうございました。

## 二次評価の審議【東京武道館】

発言者	内容
守泉委員長	続きまして、東京武道館に二次評価案につきまして事務局よりご説明をお願いします。
渡辺課長	<p>事前にいただきました、評価案につきましてご説明いたします。東京武道館につきましては、4名全ての委員からBという評価を頂いております。評価項目としては、個人利用ではトレーニングルームの早朝開館を行った5月、6月を含め利用者数が伸び、団体利用でも引き続き高い稼働率を維持している、ですとか、都民の武道の普及振興に寄与している、といった項目をいただいております。</p> <p>以上でございます。それでは委員長よろしくお願ひいたします。</p>
守泉委員長	<p>東京武道館の評価について調整させていただきますが、その中でも利用状況が増えているという、先ほどのお話にもあったように東京体育館に利用調整という部分というのがあったようですので、そこも少し考えなければいけないのかな、というところがあります。それからあとは、自主事業のお話で小海先生からございましたように、将棋・囲碁っていうので自主事業という、それも含めてご意見をお聞かせいただければと思います。</p> <p>評価としては皆さん一致していますので、特にそれに関してはよろしいですよ。それ以外に何かご意見がございましたらお願いします。</p>
小海委員	事業に関して、本当に変わってないので、それはそれでずっといくんでしょから良いんですけど、施設によっては毎年入れ替えているところもあったりして、駒沢が入れ替えて、入れ替えたところの定員が満たしてないところがある中で、ここはほぼ安定的にやっているから、このままいくのかなという印象を持っただけです。でも、キャパの問題もあってそんなに増やせないのかな、という風に思います。
澤井委員	武道系というので安定していますが参加者の高齢化が気になるころではあります。ただ中学で武道が必修化されたことはチャンスなので、取り組んでいただければいいと思います。
丸山委員	地域のスポーツセンター的な役割もありますね。ただ私は、球技で借りたことがあるんですけど、床を養生するのは結構大変でした。
守泉委員長	なかなか武道だけではカバーできない部分もあって、そういうところの地域のニーズとかにもやるために、しょうがない。
丸山委員	まあ、いいと思いますよ。地域の普及発展に寄与していただけるなら。
守泉委員長	東京武道館の二次評価は一次評価の通りBということでさせて頂いてよろしいでしょうか。
鈴木部長	はい、ありがとうございました。

## 指定管理者によるプレゼン、質疑【東京辰巳国際水泳場】

指定管理者：オーエンス・セントラル・都水協・事業団グループ

発言者	内容
鈴木部長	<p>それでは次の東京辰巳国際水泳場のプレゼンテーションに移りたいと思います。それでは指定管理者の方、入室をお願いします。</p>
事務局	<p>よろしいでしょうか。それでは指定管理者によるプレゼンテーションを行いたいと思います。プレゼンいただくお時間につきましては10分間ということで、時間厳守をお願いいたします。10分間プレゼンいただいた後に質疑の時間を5分ほど設けてございます。よろしくをお願いいたします。プレゼンにつきましては残り3分くらいになりましたところで事務局から残りの時間のご案内をお見せいたします。また、10分経ちましたらベルを鳴らしますので、その時点で終了とさせていただきます。それではプレゼンテーション、よろしくをお願いいたします。</p>
東京辰巳 国際水泳場 職員	<p>それではよろしくお願い致します。まず、令和元年度全体の状況でございます。前年度の大規模改修がほぼ完了いたしまして、1年振りに年間を通じての営業を予定し、各種事業を進めてまいりました。しかし、新型コロナウイルス感染症対策により、2月27日以降は個人利用、3月には主催利用や予定されていた競技大会のほとんどが中止となる等、異例の事態になりましたが、なによりも利用者の安全・安心を第一に運営してまいりました。</p> <p>それでは、お手元の資料に沿ってご説明を申し上げます。最初に、管理状況欄、適切な管理の履行についてでございます。1番目の施設・設備の保守点検につきましては、設備職員を研修も兼ねて手厚く配置し、施設・設備の監視と保守点検を確実に行いました。また、防火シャッター等、老朽劣化に伴う修繕対応の他、スタート台等の大会運営用備品の修繕等、オリンピックを控え、件数・金額とも例年を大幅に上回る水準で実施し、競技環境の維持・改善に務めました。</p> <p>2番目のプール施設の管理につきましては、中央監視システムの中で行う水質や水温、室温等の監視などの他、プールサイドにつめているライフガード、いわゆる監視でございますが、プールの水を採取して毎時チェックを行っておりまして、このダブルチェックにより水質等適正な利用環境の維持を図っております。この結果、毎年の利用者満足度調査でも、水質は満足度が極めて高い水準に達しております。</p> <p>3番目、人材育成の取組みでは、休館期間を活用して集中的に研修を実施しております。具体的には、安全管理や、コンプライアンス等の他、外部講師を招いた接遇研修あるいは個人情報保護研修等、8種類の研修を実施致しました。この他、利用者の窓口となる受付スタッフにつきましては、日々の業務内容の改善点や適切な受付案内の確認共有、ミーティングを実施致しました。こうした取組みにより、スタッフの接客対応は毎年高い評価を頂いております。</p>

<p>東京辰巳 国際水泳場 職員</p>	<p>4番目の施設の提供についてです。当館の設置趣旨や役割を踏まえ、日本水泳連盟等と緊密な連携を図り、大会の招致を積極的に行いました。大会実施に際しても、早朝からの準備に協力するなど、準備や撤収を含めて、円滑な運営の為のサポートを積極的に行っておりまして、その結果、大会主催者からは大会の運営が非常にやり易いと、好評を頂いております。元年度は、新たに全国規模の「東京都 OPEN2019」を誘致しましたが、その他の大規模大会の実績としては、水泳の屋内競技の全て、4種目でございます、競泳とか飛び込みでございますけれども、4種目全ての日本選手権が当水泳場で開催されました。これは大変名誉なことと考えております。</p> <p>また、FINA これは国際水連でございますけれども、「FINA 競泳ワールドカップ 2019」等2つの国際大会を誘致し開催のはこびとなりました。次に安全性の確保についてです。防災への配慮・緊急時対策として、防災訓練を5月と11月の年2回行うと共に、この時期にあわせて応急救護訓練も実施しました。更に、当館では自衛消防隊が毎年地元消防署主催の審査会に参加しておりまして、元年度は優秀賞を授与されるなど、防火管理の技術向上を図っております。また、当館は帰宅困難者の一時滞在施設として、館内のレストランや設置自販機のベンダー各社と協定を結び、帰宅困難者への清涼飲料水を確保しております。次に事業効果についてです。最初に利用の状況ですが、令和元年度の個人利用者数は46,520人でした。都の新型コロナウイルス感染症対策により、2月27日から個人利用は中止しましたが、過去5年間で最も多い利用者数となりました。これは「映像によるワンポイントアドバイス」、「スイムチャレンジ記録会」等々水泳愛好者向けのきめ細かなサービスを地道に続けてきたことの反映とも考えられますので、今後こういったサービスを続けて参りたいというふうに考えております。一方、団体利用者数は499,849人で、前年度から95,000人余の増となりました。団体利用でのプールの使用率は、メインプール91.5%、サブプール86.6%、ダイビングプール47.7%で、いずれも前年度より若干下がっておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、3月は開催予定の8大会が中止となったこと等によるものだと思われまます。</p> <p>次の、スポーツ振興事業の実施状況では、3月実施予定だった3事業を除く11事業を実施しました。「着衣泳講習会」の参加率は58%と、これは毎年少ないのですけれども、その他は全て70%を超え、事故もなく円滑に実施をすることができました。また、スポーツ振興事業の充実策としては、応募の多い事業の定員増や「親子ふれあいスポーツ観戦事業」に「アスリートとのふれあい」などの企画をプラスして、スポーツへの関心を高め、スポーツを始めるきっかけづくりを展開致しました。自主事業では、「こども水泳教室」をはじめ、全7事業を実施しました。</p>
------------------------------	--

<p>東京辰巳 国際水泳場 職員</p>	<p>3月は感染症対策で休講となったものの、参加者動向としては、オリンピックを控え翌年4月から6か月間の休講が予定されていた中で、300余名の方々に会いいただき、また、年度末までに退会された方も例年に比べ大幅に少ない数となる等、概ね順調に事業を行うことができあました。</p> <p>3番目のサービス向上に向けた取り組みですが、スポーツ振興事業の申込受付について、これまでは葉書による申込みでお願いしておりましたが、HPからも申込み出来るようにし、利便性の向上を図りました。また、利用者満足度調査におきましても、清掃状況の満足度が団体利用者、個人利用者共に前年度も含めて低かったことから、職員による「美化・清掃推進月間キャンペーン」を実施するなど、利用環境の向上に取り組みました。特に、更衣室につきましては、清掃の主体をライフガードから清掃の専門業者に変える等、体制自体を見直すことと致しました。</p> <p>その下の利用者ニーズの把握につきましては、利用者懇談会や意見箱「私の一言」によるものの他、利用者満足度調査の、特に個別意見が多数ありますので、そういうものを手がかりとしております。元年度の団体利用者の「総合満足度」は現指定管理者体制下で最高の98.2%でございました。一方、個人利用者の「総合満足度」は、前回より減少したものの、引き続き高い満足をいただいているものと思われまます。</p> <p>最後に令和元年度は政策連携団体を含む私共指定管理者コンソーシアムとして、都のスポーツ企画の推進、2020大会気運醸成、関連工事への積極的協力等、行政目的の達成に努力を致しました。具体的には、東京都スポーツ推進施策への取り組みとして、様々な方々がスポーツに親しむきっかけとなるよう、「からだ動かす習慣を始めましょう」と題して、トレーニングルームを使用した無料レッスンを試行致しました。気軽に来館し、水着にならなくても運動ができるよう配慮して、ストレッチやスポーツ吹き矢など、4種目、45から60分程度のレッスンを平均月8回実施致しました。東京2020大会気運醸成としては、オリパラ局が保有する関連動画をお借りし、当水泳場デジタルサイネージを活用してロビーで放映を致しました。また、当水泳場が水球会場となりますことから、日本水泳連盟水球協会の協力を頂き、記念撮影用のパネルを制作する等、水球を肌で感じられる演出も行いました。</p> <p>最後に前年度の大規模改修工事で、元年9月末まで継続したエレベーター新設工事や令和2年2月から着工した組織委員会の東京2020大会のオーバーレイ先行工事につきましては、水泳場を開館しながら、営業を続けながらの工事でしたため、東京都、組織委員会、工事業者と施設利用状況等の情報共有を綿密に行うほか、また工事につきましてもその日程調整・日程確保に積極的に提案する等、積極的に協力を致しました。</p>
<p>鈴木部長</p>	<p>ありがとうございました。それでは、質疑に移らせて頂きます。</p>

澤井委員	<p>今のご説明で、利用者ニーズの把握のところで、団体利用者の総合満足度は現指定管理者体制で最高の 98.2%というご説明があったんですけど、細かい資料のほうを見せて頂くと、その利用者アンケートの結果の「十分満足」というのと「まあ満足」というのを合わせて 98.2 だと思っんですけど、「十分満足」が 39.3%で「まあ満足」が 58.9%ということで、「まあ満足」ということはまだ何か足りないということだと思っんですけど、そのへんは何だと思っさうでしょうか。</p>
東京辰巳 国際水泳場 職員	<p>まあ、なかなか難しい質問だと思っさうけれども、非常に私どもの施設は老朽化が進んでまいりまして、例えばですね、更衣室、特に男性更衣室の出入口付近ですけれども、床暖房をしてある、それが一つ、そこの暖房のパイプから水が漏れているのではないかというような推測はしてありますが、床がせり上がっている。</p> <p>せり上がってきた物を、非常に危ないですから、それを外して、度々工事をしていたり、それがだいたいカラーコーン等を置いて工事をしている期間が 2 から 3 回あって、半年くらい続いていた、というようなことがあったりして、そういう意味で施設の安全性とかあるいは利用環境が少し下がっているんじゃないかというような受け止め方をされたのかなあ、というのが、1 つ私が今思っつくところであります。</p>
小海委員	<p>数字からすると、施設の掲示や案内表示の分かりやすさというところで、「十分満足」が 29.4 で「まあ満足」が 68.6 って、そこが多分一番低い方の数字だと思っんですけど、そのへんはいかがでしょうか？</p>
東京辰巳 国際水泳場 職員	<p>はい、これは、非常に案内表示、サイン化計画ということに関連してきますけれども、どこまでどういふ方々に対して、表示を徹底するのかっていうことが一つなかなか判断を要するところがございますが、私どもの施設は以前は、去年は多少、あるいは一昨年も多少変わってきているのかもしれないけれども、古くからお使いになってらっしゃる方が大変多いということで、色々なサイン・案内表示につきましても、ベタベタと壁中に案内表示をするということではなくて、できるだけ簡素化してスッキリ分かりやすく表示自体を限定するというような考え方もあります。そういう考え方でこれまで行ってきたことについて、この間、1 から 2 年新しい方がどんどん入って来られたということで、分かりにくい、ということの評価を頂いてしまったのかなあ、直接そういうお話を頂いた部分もありますので、今、このお話を頂いて、そういうことかなあということで、お話をしましたけれども、そういうことは一つ考えられるかなあと思っさう。</p>
小海委員	<p>ありがとうございます。</p>
丸山委員	<p>一昨年実際に見学をさせて頂いて、水質が素晴らしいとちょっと驚いたことがあります。私は立場上、全国の有名なスポーツ施設をよく視察することがありますけれども、ちょっと他にはないですね。非常に水がきれいです。感心しています。</p>

東京辰巳 国際水泳場 職員	恐れ入ります。ちなみに、水質的なことで申し上げますと、水質に関しましては、個人利用者の96.6%、それから団体利用者、それから事業参加者、いずれも100%満足しているとの評価を頂いております。
鈴木部長	それではお時間となりました。ありがとうございました。

## 二次評価の審議【東京辰巳国際水泳場】

発言者	内容
守泉委員長	それでは事務局よりご説明をお願いいたします。
渡辺課長	<p>事前に頂いた評価案につきましては、Bと評価された方が3名いらっしゃいます。評価項目といたしましては、利用者が安全で快適に利用できるよう、法令や協定、事業計画に沿って、適正な管理を行っている。大規模改修工事において、利害関係者と密接に連携するとともに、突発的な事項に対しても適切に対応した等でございます。</p> <p>また、Aと評価された方が1名いらっしゃいます。項目としては、水質管理に力を入れているとか、小学生からアスリートまで広く利用されているということでございます。以上でございます。では、委員長よろしく申し上げます。</p>
守泉委員長	<p>それでは評価について、今ご説明があったようにちょっと分かれているんですけども、調整させて頂きたいと思いますので、その前に1点だけ、財務の部分で先ほどお話をしたところと比較をして、同じようにスポーツジムっていう企業が入っていて、こちらに関しては、決算書上は多少は下がってますけども、業績に関してはほぼ維持しているという状況とともに、この中には入れてないんですけども、コロナの対応でひどい目に遭う可能性があるのではないかとこのことを考えて、すでに大手の金融機関との間で、コミットメントラインを設定しております。ですからそれだけ企業に対する信頼性が厚いということですね。だからいざ何かがあったとしても、それに対して資金調達ということができるような体制になっているということです。</p> <p>それでは評価が分かれていますので、Aの評価をされていらっしゃいます、丸山委員からご説明をお願いします。</p>
丸山委員	<p>昨年は利用することがなかったのですが、一昨年、現場を見せて頂いて、私のイメージからするとさっき言ったように、水質が良かったです。聞いたらかなり力を入れている。さっきの駒沢と同じように、ここの努力点を乗せたということです。ですから皆さんと同じで構いません。</p>
守泉委員長	<p>他にご意見、いかがでしょうか。澤井先生、どうでしょう。ホームページとかもけっこう揉まれたい部分とか。</p>
澤井委員	<p>そんなに言いたいわけじゃないのですが、もうちょっと全体的になんとかならないのかなっていう気はします。情報発信ということは大事だと思うんですけど。ただ、いずれの施設もTwitterかFacebookどちらかやっていて、それを見るとある程度しっかり更新していただいているのかと思います。</p>
守泉委員長	<p>ただ、年齢層によっては、ある程度高齢の人はみんなFacebookとかホームページのほうに関わる。Twitterっていうのは基本的に若い人。</p>

澤井委員	<p>そういう意味では両方やったほうが良いと思うんですけど。FacebookとTwitterは。片方だけというところがちょっと多い気がしますけど、運営が大変でしょうから、そこまでは要求できないように思います。ちょっと気になったのは、先ほど先生も聞いておられましたけど、アンケート調査の項目が「まあ満足」というところと「やや満足」というところとがあり文言が変わったりしていて、細かいことを言うとちょっと気になるんですよね。たとえば「十分満足」と「満足」とでは違いますので回答の割合が変わってくると思うんですが、いずれにしても満足がほぼ100%というのは、サンプル数も少ないし調査としてはちょっと信頼性に疑問があるということになります。専用利用だと56、まあこれは団体対象なので少ないのかもしれないですけど、個人利用で177なので、業者の方に統一してしっかりお願いすることが必要なのかなと思います。</p> <p>あと、コメントで個別に聞いてもらっているのかどうかとか、そういったところは基準を統一したほうが良いと思います。</p>
守泉委員長	<p>澤井先生が言われたように、どうしても老朽化する施設になってくると、満足度が一般的に下がり気味になってきて、維持するのが非常に大変なんですけども、その一方で施設の掲示の部分とか、そういうものに関して何か問題があるのではないのでしょうか。というのは、非常に良い視点。そのへんのところを他の改善を望まれる事項でもお入れ頂けると良いかもしれません。</p> <p>他に何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。</p> <p>ただいまご意見頂いた内容について、できるだけ言葉の中でもお入れ頂けるようということを含めて、二次評価に関してはBということでご異議ないでしょうか。ではそれで決めさせていただきます。</p>
鈴木部長	はい、ありがとうございました。

## 指定管理者によるプレゼン、質疑【武蔵野の森総合スポーツプラザ】

指定管理者：東京スタジアムグループ

発言者	内容
鈴木部長	<p>続きますは、武蔵野の森総合スポーツプラザのプレゼンテーションでございます。では入室してください。</p>
事務局	<p>よろしいでしょうか。それでは指定管理者のプレゼンテーションです。プレゼン時間は10分間でございます。時間厳守をお願いいたします。その後に質疑の時間を5分ほど取ってございます。残り時間が3分になりましたら一度ベルを鳴らします。10分経ちましたら再度またベルを鳴らしますので、そこで、終了ということになりますので、よろしくをお願いいたします。</p>
武蔵野の森総合スポーツプラザ職員	<p>武蔵野の森総合スポーツプラザの管理運営をしております、東京スタジアムグループです。本日はどうぞよろしくお願いいたします。武蔵野の森総合スポーツプラザは2017年11月に開業した施設でございます。私どもは開業時から施設運営にあたり次の3つのことを念頭に運営を行って参りました。まず1つは、多摩地域をはじめとする都民の皆様にとって、利用しやすく親しみやすい施設になること。2つ目は、隣接地において2001年より営業している味の素スタジアムとの一体運営によって、事業の広がりや事業効果の向上を図ることです。3つ目は、味スタが運営を通じて培ってきた地域とのネットワークを活用することで、開業間もない頃から円滑な地域との連携や地域への定着を図ることです。</p> <p>では、資料に基づきまして昨年度の管理運営状況について説明をさせていただきます。施設の提供についてでございますが、昨年度は東京2020大会のテストイベント、具体的にはバドミントン、近代五種でございますが、こちらやラグビーワールドカップ2019、こちらは主催ではなくてホスピタリティスペースとしてご利用頂いておりますが、国際的な大会の場として活用いただきました。</p> <p>その開催準備の過程で、都や各組織委員会の多くの視察や打合せに対応させて頂きまして、その過程において、大会運営に関し、管理者の立場で助言をさせて頂きました。また、両組織委員会との打ち合わせを通じて、私どもも国際的な大会ならではの運営に関して、かかわることができ、知見を深める貴重な機会を頂きました。この経験は来年度のオリンピックにおいても活用できると考えております。</p> <p>年間の開催実績につきましてですが、30件のスポーツイベントを開催し、また、スポーツのご利用希望の無い日につきましては大型コンサート等の集客率の高いイベントを誘致することで、多くのお客様に足を運んで頂き、当施設の認知度の向上及び施設の有効活用に努めて参りました。</p>

<p>武蔵野の森 総合スポーツプラザ 職員</p>	<p>環境配慮につきましては、当施設は様々な再生可能エネルギー、省エネルギー技術等が活用できる施設となっておりますので、例えば節水でしたら、雨水ですとか、年1回プールの水抜きを行っております、その排水を活用しましてトイレや植栽の散水等に活用など行っております。次に、安全性の確保、防災への配慮・緊急事態策でございますが、なんとといっても昨年度は1月に発生した新型コロナウイルス感染症の発生によりまして、例年とは異なる意味で安全性の確保を求められた年でございます。通常の防災への配慮に加え、こちらにつきまして、非常にきめ細かい対応を行いました。</p> <p>都の指示に基づき、利用者には手指消毒やマスク着用の徹底を主催者、都を中心に呼びかけると共に、その後、2月の利用自粛、3月休館の要請と続きましたが、その過程において、職員が手分けして予約が入っていた団体等に丁寧に説明を行い、トラブルが生じないように自粛や休館にご協力を頂いたところでございます。</p> <p>次に利用の状況でございます。施設全体で約 89 万人の方にご利用いただいております。内訳は団体利用が 72 万人、個人利用が 15 万人となっております。やはり、新型コロナウイルス等の影響もございまして、昨年度の 109 万人から若干減少、2月も3月もございましたので、減少いたしておりますが、ただ、そういった諸事情ですとか、あとラグビーワールドカップ 2019 開催期間中のセキュリティ等の関係もございまして、一部館内施設の休館等行った日数もございまして、そういったことを考慮すれば、概ね例年並みの使用率を確保できたと考えております。また、ジム・プールの一日当たりの利用者数については、前年度を上回る実績を下の表の通り確保しております。2019 年度はチケットを購入して買って頂いた方が 1 日あたり 458 人、月額フリーパスが 102 人という形になっております。この月額フリーパスというのは概ね 15 回以上利用する方であれば、フリーパスを買ったほうがお得になりまして、そういったことをふまえますと、継続的にこの施設を利用して頂ける方が増えているんだというふうに思っております。次にスポーツ振興事業等につきましては 17 事業を実施し、延べ 2,133 人にご参加いただいたところです。様々な世代やライフステージに属する人々にスポーツに親しんでいただくように心がけて参りました。また昨年度は、多摩障害者スポーツセンターと連携して、センタースタッフによる障害者への水泳のワンポイントレッスンを新規に開始したところです。</p> <p>次に地域貢献事業につきましては、18 事業を実施し、延べ 14,503 人にご参加いただきました。地元の三市とも連携の上、ラグビーワールドカップ 2019、東京 2020 大会の競技体験イベント等を実施しております。また、次に自主事業でございますが、こちらジム・プールにおいては、週に 51 本のレッスンプログラムを実施しております。また、54,000 人の方にご参加いただきましたが、こちらにつき</p>
-----------------------------------	--

<p>武蔵野の森 総合スポーツ プラザ 職員</p>	<p>ましては、半年に一度利用者のニーズを踏まえてプログラムの見直しを行い、例えば昨年ですと、レッスン重視のご希望があった、例えば屋外でもできる、スタジオ内だけではなく屋外でもできる有酸素運動をやりたいというご要望を受けて、プログラムの中に「ノルディックスローウォーキング」という新しいプログラムをご提示するなど、利用者の声を踏まえて講師のほうでプログラムを組み替えるなど、工夫を行っているところでございます。</p> <p>次にサービス向上に向けた取組ですが、こちらにつきましては当館は月一回休館日、施設点検等の必要性から、休館日がございますが、予めその日とご利用希望日が重なっている場合につきましては、その休館日をずらすなどして、ご利用を希望なさっている日にちに大会ができるよう心がけ、例えば春高バレーですとか、全国高校バスケ等の大きな大会は、そのような工夫を交えて開催されております。</p> <p>次に利用者ニーズでございますが、当館では館内にご意見箱や利用者アンケートを設置してございます。こちらのほうを、当館はコンソーシアムで運営しておりますので、各コンソも含めて共有しておりますので、快適に施設を利用して頂けるよう施設運営に役立たせて頂いております。また、当館では、親しみやすい雰囲気づくりを心がけておりますが、ジム・プールの利用者アンケートでは、77.8%の方がスタッフの対応について「満足」と回答するなど、総じて施設利用者の満足度は高くなっていると思っております。</p> <p>また、利用促進への取組でございますが、3 か月ごとにイベントパンフレットを作成して、近隣自治体や近隣駅設置のラック等を通じ周知してございます。また、2018年の11月からは以前の指定管理者委員会でも、広報手段について工夫をするべきというご意見を頂いたこともあり、2018年1月から新たにTwitterを発信手段として加え決め細かくPRに努めたりしております。以上のような取組を交えまして、引き続き、今後も親しみの持てる多摩地域のスポーツ拠点として新しい役割を果たしていく所存でございます。以上でご説明を終わらせて頂きます。</p>
<p>鈴木部長</p>	<p>はい、ありがとうございました。それでは5分間程でございますが、質疑を行っていきたいと思います。</p>
<p>澤井委員</p>	<p>ありがとうございました。武蔵野の森総合スポーツプラザのメインアリーナ、1万席を擁する観戦型の施設となっておりますけれども、その観戦型の施設としては、どのような運営をされているか、対応とかされているか。利用者のアンケートとところでですね、メイン・サブアリーナと個人利用のところがありますが、メインアリーナは一般の方より興行者の方が使われると思うのですが、例えば興行をされている団体からニーズや満足度を聞くというようなそういうことをされているのかどうか、聞かせて下さい。</p>

武蔵野の森 総合スポー ツプラザ 職員	そちらについてはプロモーターさんとの話し合い等を行っておりまして、当社やっばりコンサートとかは、専門的なスキルとか誘致にあたってはネットワークとか必要ですので、連携している会社がございます、そちらの会社を通じて色々なコンサート業界や企画を常に誘致をしているところでございます。
澤井委員	東京スタジアムと共有しているような感じですね。
武蔵野の森 総合スポー ツプラザ 職員	もちろん、それもでございます。
澤井委員	ぜひ、次の報告書ではそういったものは反映して頂くところからも評価しやすいというのがあります。1万人のアリーナですので、そこはすごく大事なところだと思います。あと、僕がすごく評価したのは、地域の方と地域に対して発信、連携みたいなのをちゃんとやって頂いているのは、すごく素晴らしいと思います。アリーナ使った競技なんかも地域の方も見に来られるようで、プロの興行でなくてもそのような雰囲気があるとすごくいいなというふうに思いました。ありがとうございました。
丸山委員	あの、一昨年ですが、ちょっと施設を見せて頂いて多摩地区とおっしゃっていましたが、実際に利用されている方は確か調布を中心に、調布・府中・三鷹ぐらいで、多摩地域という西多摩から南多摩から奥多摩まであるわけです。ところが実際問題、多摩地域は交通事情の関係で、例えば京王線沿線はまあ使いやすいんですけど、中央線沿線となると、むしろ都心に行ったほうが来やすいということもあって、なかなか広がっていかない感じがするんです。その後、この利用者の広がりはどうでしょうか？
武蔵野の森 総合スポー ツプラザ 職員	どうしてもその点についてはやはり一つの課題ではあると考えておりまして、地元三市に限らず、体育イベントですとか、そういった時にはお運び頂けるようにということで、誘致等を行ってはいるところでありますが、やはり今おっしゃられましたように、交通の利便性を考えますと、多摩の中でもいくつかのカテゴリーがやはりありますので、その中心になっていけるように主催者さんの自治体のところの近辺のところを使いたいというご要望があつて、なかなか今のところは是正になっていないところではあります。
澤井委員	まあ、あのフランチャイズの考え方は、僕は良いと思うんですけども、地域だけじゃなくて京王線という沿線というアクセスのほうから考えてマーケティングするというのもありかな、というふうに思います。ただ、繰り返しますけれども、他の施設に比べて多摩地域への連携ということを書いている、こういう施設は少ないので、その点はすごく評価をしています。

守泉委員長	<p>私のほうから一点だけですけれども、サブアリーナの問題でサブアリーナに関しては利用率が多少減少していて、その一方でアンケートを見てみますとそれに関しての利用時間・利用料金に関して、「やや不満」というのが7.9%というような状態なんですね。そうすると、何かそのへんのところに、原因があって、他は伸びているのにも関わらず、そこが減少しているのではないかとということが懸念されるんですけれども、その原因分析と対応策に関してご説明をして頂けないでしょうか。</p>
武蔵野の森 総合スポーツ プラザ 職員	<p>サブアリーナにつきましてはやはりご利用頂ける日数について言いますと、ラグビーワールドカップがあった関係で、前年に比べまして15日程空けられる日数自体が少なくなっております、その分稼働率が下がるようになっております。</p> <p>また、かわりまして、ラグビーワールドカップの合間も、試合の時はセキュリティの関係上、使わない施設を閉じていて、その合間に稼働するように開けている日があるんですね。やはり開けておいても多少予定が出にくいという面もございました。そういったこともありまして、一方メインアリーナにつきましては、ラグビーワールドカップの期間中はずっと9月から11月の途中まで貸し切りでしたので、そこは100%の稼働率という計算になります。この両者の要素があいまって、メインアリーナが上昇、サブアリーナが低下という結果となっております、おそらくその稼働できなかった日数等もありますと、もう少し、コロナがなければ上がっていた部分もあるのかな、上がっていたのかなと分析しているところでございます。</p>
守泉委員長	<p>コロナの問題はおいといて、その部分の原因等に関しては、昨年のワールドカップというような特殊な事情というのが影響しているという理解でよろしいでしょうか。</p>
武蔵野の森 総合スポーツ プラザ 職員	<p>そうですね。こちら、特異値な稼働実績になっているかと思っております。</p>
鈴木部長	<p>ありがとうございます。それでは、時間でございますので、質疑はここで終了とさせていただきます。</p>

## 二次評価の審議【武蔵野の森総合スポーツプラザ】

発言者	内容
守泉委員長	それでは武蔵野の森総合スポーツプラザの二次評価案について、まず事務局よりご説明をお願いします。
渡辺課長	<p>まずBと評価された方が3名いらっしゃいまして、項目としては、エネルギー管理体制を構築し、月次での管理を実施し、前年度を1.1%下回る省エネルギーを達成しているなどがございます。</p> <p>次にCと評価された方が1名いらっしゃいます。項目としては、ホームページの情報量をもう少し増やしたほうが良いなどがございます。以上でございます。委員長よろしくお願いたします。</p>
守泉委員長	今ご説明があったように、評価が一部わかれている部分もあります。それとともに、この施設というのが、このグループを選んだ大きな理由の1つとして、東京スタジアムとのコラボレートというのが、当時の社長がプレゼンでかなり強調されていまして、その部分はまさに昨年度で発揮されたかどうかっていうところが、一つポイントになるのかもしれませんが。澤井委員のほうからご説明頂ければと思います。
澤井委員	<p>さっきの東京体育館と同じなんですけども、基本的に観戦型施設ということで、それについての評価という項目が無かったので暫定Cとしました。ただ、やり取りして分かったことなんですけども、東京スタジアムなので東京スタジアムの興行ノウハウはきちんと利用しているんだろうなという予想通りの答えだったのですが、それが確認できたのでBでよろしいかなと思います。評価しているのは、先ほども言いましたけども、他の今までの施設の中で、ちゃんと地域との連携ということで、先ほどおっしゃったように東京スタジアムとしてということで当然と言えば当然ですが、そういうことをちゃんと書いているところは評価して、Bでよろしいかなと思います。</p> <p>ただ1点ちょっと気になってるのは、財務状況のところ、やはり人件費が計画に対して5000万円以上少なくなっていて、これはRWCの影響なのかコロナの影響なのか、ただRWCは最初から分かっていたことなので、計画に盛り込めなかったのかなとか、コロナによる休業補償をきちんとしているのかどうかとか、そこだけは全施設を通じてなんですけども、確認されておられるかどうか都の方にお聞きしたいなと思っていました。</p>
小海委員	ちなみに利用者サービス事業の収益がすごい上がってるんですけども、これもじゃあラグビー関係？
渡辺課長	と思われま。
小海委員	3千万円分。なんか納得できました。
澤井委員	確認の体で、とにかくコロナ補償はちゃんとしてるかどうかってことと、働いている方の待遇、都の施設ですので、そこはしっかり確認をして頂きたいと思

	ます。
守泉委員長	<p>その一方で財務のほうで不思議な部分がありまして、代表団体のほうが去年はけっこう大きな行事があったにもかかわらず、売上高に関しては多少落ち込んで経常損失。ですから売上高は伸びていて、けども、コストもいろいろ大きな行事でかかって赤になったというのは分かるんですけども、こういう状況で売上高も落ちてきていてってところが非常に気になるのと、この代表団体っていうのは、役員は実際の長でなく名誉職なので、実態として運営しているのが東京都から出向している人とか京王電鉄グループの方なので、その合議体の中で上手くやっていけるのかっていうところがすごく懸念があるっていうことと、構成団体の1つのところがフィットネスクラブで、東京ドームの運営が、昔からの懸念なんです。なかなか赤字が解消されない。今期のところでもまだその部分がコロナの問題が少し出始めた段階でも悪い状況なので、今ぐらいは決定的に悪い。ですからその点で構成団体にも少し懸念がありますので、その状況のところを見て頂ければと思います。</p> <p>評価に戻りますと、先ほどからご意見が出た部分でもございますし、個人的に言いますと、サブアリーナの問題っていうのは、さっき澤井委員もおっしゃった部分の影響も、またメインアリーナとの違いの部分というところが実際出てきているのかなって。その部分を指定管理者がきちんと認識をして、細かい部分も配慮されているのかとなると、ちょっと疑問点が残る部分があるのかと思います。</p>
守泉委員長	<p>ただそうは言ったとしても、評価としては他の方たち、3名がBということで第一次評価の通りということでよろしいですかね。</p> <p>ではそういうことでお願いします。</p>
鈴木部長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>それでは午前中のプレゼンと審議は以上でございます。午後は12時45分から再開という予定でございますので、よろしくお願いいたします。</p>

## 指定管理者によるプレゼン、質疑【東京都障害者総合スポーツセンター】

指定管理者：公益社団法人東京都障害者スポーツ協会

発言者	内容
鈴木部長	<p>それでは東京都障害者総合スポーツセンターの指定管理者によるプレゼンテーションでございます。</p>
事務局	<p>それでは指定管理者によるプレゼンテーションを行います。プレゼンの時間は10分間。時間厳守ということをお願いしたいと思います。その後、質疑に5分ほど取らせていただいております。残り3分になりましたら一度ベルを鳴らします。10分経ちましたら再度ベルを鳴らしますので、そこで終了となりますので、よろしく願いいたします。</p>
東京都障害者総合スポーツセンター職員	<p>東京都障害者総合スポーツセンターの所長でございます。よろしくお願いいたします。令和元年度の管理運営状況につきまして、資料でございます項目、3点ございますが、大きく3項目に分けてご説明をいたします。1点目は、施設運営の基本姿勢とその具体化でございます。まず、サービス提供の考えとして、これまでと同様に、当協会が作成いたしました、「東京における障害者スポーツ振興ビジョン」の実現に向けまして、障害者スポーツ施設としての機能の充実と効果的な運営、利用者支援サービスの向上、地域での障害者スポーツの活性化の推進などに努めて参りました。</p> <p>また、職員の資質向上につきましては、職員研修実施要綱に基づき各種研修を実施いたしております。また、人材開発の観点から独自の助成制度により職員の資格取得を支援したというところでございます。</p> <p>主な実績は、記載の通りでございます。また、安全対策・環境配慮等の実施につきましては、利用者が、安全に、公平に、継続してご利用いただけるように、センター最大の特長でありますスポーツスタッフを「全施設に全時間」配置すると、それとともに、職員研修、合同防災訓練、普通救命講習など、記載の6項目にわたる、対策等の取組みを行いました。</p> <p>2点目は、利用者支援のさらなる充実でございます。はじめに利用者の状況についてご説明いたします。令和元年度は改修工事により閉鎖しておりました屋外施設、運動場とテニスコートでございますが、7月末からオープンいたしまして、年間で延べ約16万6千人の利用がございました。前年度は約13万8千人でしたので、対前年度比20%、2万8千人の増となっております。個人利用と団体利用の比率ですが個人が6、団体が4という割合となっております。</p> <p>また、新規利用者としては、1,003人と近年では最も多く登録がございました。これは、全館オープンを見据え、平成30年度から取組んできたセンター見学会、これをきっかけとした新たな利用者などが増えたことに加えまして、団体利用が大きく増えまして、それに伴い、団体利用者が個人利用を行うために新規登録したということも要因と考えております。</p>

<p>東京都障害者総合スポーツセンター職員</p>	<p>また、利用者ニーズの把握につきましては、毎年度アンケートを実施しております。96.3%の方から十分・ほぼ十分という回答をいただいております。また、多摩スポーツセンターと合同の「利用者の声調整委員会」を設置しております、各センターに寄せられた利用者からの苦情・要望等への対応を協議しまして、運営の改善に努めているところでございます。</p> <p>また、利用者の特性を踏まえた適切な利用者支援につきましては、全館リニューアルオープンによる体育施設の拡充、並びに、利用時間の増大に対しまして、日常的に環境整備を行うとともに、「施設運用マニュアル」に基づいて、利用者が安全・安心に利用していただけるよう、運営を行っているところでございます。日常利用の中でいただきました利用者のご意見とか状況は、職員間で共有し、随時「施設運用マニュアル」を更新しているところでございます。</p> <p>また、職員の資質の向上に向けた研修も日常的に行っているところでございます。実施事業としては、利用者の障害の種類・程度や年齢層、利用目的や様々なニーズに対しまして、それぞれのライフステージやスポーツニーズに合わせた健康スポーツ相談、各種教室・大会・講習会等を65事業実施いたしました。</p> <p>障害者スポーツセンターの特長を踏まえた運営の推進につきましては、今申し上げましたように、様々なニーズというか状況を踏まえてですね、各施設で日常的に利用者への支援に取組みますと共に、初心者・初級者等を対象としたスポーツリハビリテーションや健康増進から競技力向上まで多種多様な目的に対応した事業を実施いたしました。今後、重度障害者や高齢障害者、精神障害者、発達障害者等のスポーツ活動を促進すると共にセンターでの利用者本位のサービスをより一層充実させるために、医療連携講座、アウトリーチ事業、アシストサービスに人材を充てていくということで充実を図って参りたいと考えております。</p> <p>3点目でございます。地域振興事業の充実ですが、関係団体等の連携強化を図るために、「センター見学会」を実施しております。30年度は41件、元年度は45件と高い関心を集めたところでございますが、このことはセンターそしてセンターの事業の認知度の向上につながり、新たな利用者の創出と、広義の東京都全体のスポーツ振興に寄与することができたと考えております。</p> <p>「障害者スポーツ相談事業」では、35件の関係機関・団体が実施する事業の企画等に協働しております。また、「公共スポーツ施設利用促進事業」では、障がい者スポーツ指導員、公共施設の指定管理者のスタッフへの指導を実施したりしております。障害のある人が、身近な地域で障害の種類・程度、目的に応じたスポーツ活動を享受する環境づくりに取組んだものというふうに考えております。以上でございます。</p>
<p>鈴木部長</p>	<p>ありがとうございました。それでは、ただいまのプレゼンに関しまして、質問等ございましたらよろしく申し上げます。</p>

澤井委員	よろしいでしょうか。
鈴木部長	はい、どうぞ。
澤井委員	地域振興ですとか、地域のステークホルダーとの関係、あるいは障害者だけではなくて健常者も交えてサービスの提供って、非常に素晴らしいなと思って拝見しました。せっかく地域振興とか健常者との交流みたいなものやっつけて、今後の課題みたいなものがあったら教えていただきたいと思います。
東京都障害者総合スポーツセンター職員	今、地域振興はですね、様々な関係機関・団体と連携して行われているわけですが、ともすれば一過性のイベントとか教室のつながりだけで、それを例えば我々と当該地域の社協、スポーツ推進の方とのつながりだけで、その当該地域の推進達成が、今後の課題と思っています。
澤井委員	ありがとうございます。
鈴木部長	他にはありますでしょうか。
小海委員	2点あるんですけど、1点は「スポーツスタッフを全施設に全時間配置」ってことなんですけど、このスポーツスタッフっていうのは、どういう方なのかっていうのを教えていただきたいのが1つと、もう1点が「利用者の声調整委員会」っていうのが書かれているんですけど、そこで「利用者からの苦情・要望等への対応を協議し、運営の改善に努めている」というのが、具体的にどんな事例があったかっていうのを1つか2つ教えていただければと思います。
東京都障害者総合スポーツセンター職員	まずスポーツスタッフはですね、私ども東京都障害者総合スポーツセンターは、スポーツ支援課というのがございまして、その職員、正職員と非常勤ケア職員と場合によってはパート職員で運営しております。その職員が、全スポーツ施設全時間、施設勤務しております。スポーツ教室ではなくても利用者の障害の種類・程度・目的に合わせてスポーツ支援をしているというところでございます。
小海委員	その方たちは何らかの資格は持っているんですか？
東京都障害者総合スポーツセンター職員	募集の段階で主に四大卒のスポーツ系の学部、もしくは社会教育学部、場合によっては理学療法士の資格を持っている者。障がい者スポーツ指導員の資格は取得して入職してっていう者もいますけど、入職後に取得する者もいます。 利用者の声調整委員会の具体化されたものの例ですけども、多目的トイレに成人が利用できるベッドか長椅子を設置してほしいというご意見がございました。合わせて入り口のカーテンの真ん中に切れ目を入れて、出入りがしやすくしてほしいというご意見に対しまして、まずカーテンについては切れ目を入れて、出入りができるものに交換。多目的トイレ内に格納式のベッドを設置したというのが最近のものです。
小海委員	ありがとうございました。

守泉委員長	<p>1点目としましては先程もお話があった資格取得とかそういうところの点に関して、研修は別として資格取得の場合に、それに関してのお金の面での補助、それから取得した場合の資格手当みたいなもの、そういう制度の部分っていうのを何か導入されているのかっていうのと、2点目としましては、けっこう利用者が増えていきますね、その部分っていうのは、大規模な改修というのが大きな要因だったのか、それともさっきお話があったように、何か特別な努力があったからなのか、そのところをご説明いただきたいと思います。</p>
東京都障害者総合スポーツセンター職員	<p>資格取得研修の補助に関して年間最高で1人10万円。例えばスポーツトレーナーなど。保有資格に対しての手当っていうのは今のところはありません。</p> <p>利用者増ですけれども、ここに記載されているセンター見学会とか関係団体との連携が進んだのが理由だと思っています。あと大規模改修によって、体育室は1.7倍に広がっていますし、アーチェリー場も50mから70mになっております。</p>
鈴木部長	<p>よろしいでしょうか。では質疑を終わります。</p> <p>指定管理者の方、どうもありがとうございました。</p>

## 二次評価の審議【東京都障害者総合スポーツセンター】

発言者	内容
守泉委員長	<p>それでは東京都障害者総合スポーツセンターの二次評価案について、事務局よりご説明をお願いいたします。</p>
渡辺課長	<p>東京都障害者総合スポーツセンターの事前に頂きました、評価案でございます。まずBと評価された方は3名いらっしゃいます。項目としては改修工事後に利用者数が増加しており、改修工事の効果がうまく発揮されております。続きましてAと評価された方が一人いらっしゃいます。項目は指定管理者の専門性を生かして利用者への細やかなサポートを行っている、というところでございます。</p>
守泉委員長	<p>今お話があったように、3人がB評価、1人がA評価ということですが、それにプラスして平成30年ですと、実施状況を見ても少し別のものをうまく入れ込んで数字を作ったと言うと変ですけども、例えばアウトリーチ事業とかそういうことで数字が出てきておりますが、今年の場合には純粹に色んな行事をやってきて、それでかつ、それに対する実績もずいぶん上がっているように見えるんですね。その一方で評価の部分が水準通りということで、個人的には疑問な部分もあります。そのあたりが澤井先生のほうが、Aとした何か関連があるのかなとは思いますが、いかがでしょうか。</p>
澤井委員	<p>僕はAにしたんですけども、1つ目は、先ほども質問したのですが、地域振興に言及しているんですね。先ほどの武蔵野の森総合スポーツプラザでも少しだけ触れていましたけれども、地域の公共スポーツ施設としてはすごく大事なところだと思うんですが、そういうふうにはちゃんと触れているのが、他にはあまりなくて、ここはちゃんと触れているということが1点です。</p> <p>2つ目は、専門の競技団体ですので、その専門性を生かして細やかにサービスをしているなあと感じたということ。あとは、アンケート調査はここが一番サンプル数多くて、しっかりやっていると思いました。</p> <p>やっぱりサンプル数が500を超えていると、「やや不満」が数%出てきますよね。これが普通だと思います。今までのほかの施設の調査で100票とかだと、「やや不満」がゼロだったりというのは異常なんですね。本来であれば、サンプルがある程度の人数を揃えると、このくらい「やや不満」が出てくるのが普通だと思うんですね。</p> <p>障害者だけではなく、健常者との交流事業もきちんとやられているということで、そういう意味ではよくやられているので、これでAじゃなきゃやっぱりどうしたらいいんだろうかというくらいにちょっと思ったりはしました。</p>

守泉委員長	<p>今のお話の中で、実はこの利用者のアンケート結果のことで、前の年の部分があると分かるんですけども、だいぶ変わった記憶があるんですね。「やや不満」っていうのがもう少しあったような気がするんですけど、それがだいぶ解消されてきておりますし、それが今お話があったように有効回答数からしても母集団の実態を反映している部分があると思うんですけども、他の委員の方のご意見もお聞きしたいとともに、事務局のほうがこの部分も含めて水準通りにした部分というのはちょっとお話を聞かせて頂けないでしょうか。</p>
渡辺課長	<p>まずアンケートにつきましては、おそらく6月30日に新しく改修した施設ですので、ものすごく以前に比べてきれいな施設でして、その要因が一番あるのかなと思います。だいぶプールも使いやすくなりましたし、そういった要因があると。障害者総合スポーツセンターにつきましては、他の都立体育施設とは要素が違ってですね、障害者の方の社会参加を促進するための施設っていうのがあります。そういったところに力を入れて、基本といえば基本のことですし、健常者との連携・協働みたいなことについても設立の理念として元々あるんです。求められている基本的なことはしっかりやっているとかなというふうな印象です。特段取り立ててこれがすごいというようなことではないかなというところもあります。</p>
守泉委員長	<p>結構厳しめに、そのくらいはできて当然でしょうということ？</p>
渡辺課長	<p>利用者数についても、いま16万人位なんですけど、これは例年並みの数字です。これまでの古い施設で。これが例えば20万人とか22万人とか、ある程度増えていけば、要素として見たいなあと。それからやっぱり障害を持つ方の特性として交通事情が利用につながってくるので、公共交通機関との関係があるので、どうしても利用がこの施設は北区にあるんですが、北区周辺とか埼玉は浦和とか、といった所からの来館が多いのかなと思うんですけど、それが都立施設のような全都的な施設で、もっと幅広に使ってもらえる施設ですんで、色んな区の方の利用があったら、そういうものがあればまた評価もしていきたいなと思います。</p>
澤井委員	<p>色んな区からの利用があったかどうかで評価にあるのでしょうか？</p>
渡辺課長	<p>そうですね、ここの中にはないです。</p>
澤井委員	<p>それはやっぱりきちんとアンケートをとっておかないと。</p>
小海委員	<p>たぶん今のお話の中でも、施設が使えるようになって、色んなことが元に戻ってきたとか、例えばスポーツ教室とか、スポーツ教室と同じような地域振興事業は前年度は全然できなかったのが復活してきたとか、新たにその辺を前年度と比べたら評価したいなと、見えるのかなとは思いますが。</p> <p>あとはこれで十分なのかどうかだけを。これが工事する前と同じと言われると、ああそうなんですかと落ち着いちゃいますけど。</p>

守泉委員長	あと、そもそもこういうのに参加するような方達っていうのは、普通の健常者の方と違って、無限にあるわけじゃなくて限界があるようなので、多分無理な要求まではできないのかなと思っているんですけども。
丸山委員	そうですね、次の多摩でも同じようなことは言えるんですけど、これなかなか障害を持った方が遠くからは難しいですね。私は普通のスポーツ施設で障害者と健常者一緒に集いをやっていますけれども、一緒に行くのは、やってみると分かりますけれども、色々課題が出てきます。例えば内容が障害者が一緒だと、どうしても障害者の皆さんが楽しめるような内容になってくると、健常者が物足りなくなったりして、私は2時間の時間を区切って、最初の1時間は健常者だけ、後半は一緒っていうふうにしてやっていますよ。これは非常に好評です。しかも、障害者の場合はうっかりすると自宅から施設までどうするかってことも考えてあげないといけないですから、なかなか大勢を集めるのは難しいと思います。
守泉委員長	どうでしょう。
澤井委員	僕は皆さんに合わせます。どうしてもAと主張するわけではないので。
小海委員	ちなみに、このSとAでAが1.25倍以上っていうのは、これは
渡辺課長	そうですね。これは全庁的な指針に基づいております。
澤井委員	僕はそれで良いと思うんですけど、ちょっと1点注意して頂きたいのは、今の地域連携とか地域振興とか、ステークホルダーとの連携というのは大事だと思いますし、指定管理者の選定の時の評価の際には基準にしたりするんですけども、ここではあまり評価の条件にあがってなくて、この障害者総合、多摩もそうですけど、「指定管理者の提案」という形で出てくるんですね。これをちゃんと評価する項目をちゃんと作っておいたほうがいいのかと思います。
澤井委員	そうすると、ここは他の事業団と比べるとしっかり地域を見てやっていたり、ステークホルダーとちゃんと連携をとっていて、それはもうちょっと評価してもいいんじゃないかなと思いました。
守泉委員長	そういう趣旨で評価は一応Bですけども、今の委員のお話を受けて、そういう趣旨の部分の記載を入れていただきたいと思います。
鈴木部長	はい、ありがとうございます。

## 指定管理者によるプレゼン、質疑【東京都多摩障害者スポーツセンター】

指定管理者：公益社団法人東京都障害者スポーツ協会

発言者	内容
鈴木部長	次は東京都多摩障害者スポーツセンターです。
事務局	<p>それでは指定管理者によるプレゼンテーションになります。プレゼンの時間は10分間でございますので、時間厳守ということをお願いしたいと思います。その後質疑の時間を5分ほど取らせていただきます。残り3分になりましたら一度ベルを鳴らします。10分が経ちましたら再度ベルを鳴らします。そこで終了となります。それではよろしくお願いたします。</p>
東京都多摩障害者スポーツセンター職員	<p>それでは、東京都多摩障害者スポーツセンターです。多摩のほうの説明をさせていただきます。昨年度は指定管理者第三期の4年目ということでしたが、大規模改修工事に伴い、4月・5月は味の素スタジアムの調布庁舎のほうで運営をしております。6月は引越で休館、6月30日に国立のセンターのリニューアルオープンの開所式を行いました。7月から国立のほうで運営を開始いたしました。その後も昨年度は台風19号や現在も続いております新型コロナウイルスの関係で事業の中止や制限を余儀なくされており、運営に大きな影響があった年と思います。このような背景を念頭に進めさせていただきます。</p> <p>まず、サービス提供の考え方についてですが、第三期分の指定管理者の申請書に記載した事項、それから私どもの協会が作成しました「東京都障害者スポーツ振興計画」の記載事項を踏まえまして、障害者スポーツの振興に取り組んで参りました。具体的には、障害の種別・程度・年齢、またスポーツの技術力等、利用者それぞれのライフステージに合った教室や大会、行事、講習会等の事業を広域スポーツセンターとして、施設の中だけではなく地域振興への支援も含めまして行って参りました。</p> <p>次の職員の資質向上についてですが、協会本部と私ども多摩スポーツセンター、それから総合スポーツセンターの職員が一堂に会しまして年に一回全体研修ということで、研修を行っております。研修のテーマにつきましては職員にアンケートを行いまして、その結果を反映させております。昨年度の実施実績としましては、記載の通りになりますが、昨年4月から順次施行されましたタイムリーな題材としまして、働き方改革関連法案等、事例を交えながら研修を行っております。資格取得としましては、現場のスタッフにつきましては、健康運動指導者と障害者スポーツ指導員の資格は全員の取得を目指しております。</p>

<p>東京都多摩障害者スポーツセンター職員</p>	<p>次の安全対策・環境配慮等の実施についてですが、防災訓練を仮施設の調布庁舎と、国立に戻ってからと、関連機関と合同でそれぞれ実施しております。東日本大震災以来、大規模地震を想定し、通報・消火・避難誘導を含めた総合訓練を実施しております。また、当センターは一時滞在施設に指定されておりますので、備蓄品の確認もこの機会に行っております。また、空気環境測定等の法令点検を行い、屋内の安全な環境づくりに努めるとともに、施設内の緑化、施設内外のLED化も改修工事により実現しております。</p> <p>利用者の状況についてですが、令和元年の利用の部分については、年10万9千人となっております。対前年度比としましては、47.7%の増加となっております。前年度は29年度の表記となっておりますが、30年度の間違いでございます。お詫びして訂正いたします。人数にして35,303人増えておりますが、増加の主な原因としましては、国立に戻ってプールが再開したことが主な原因として挙げられます。</p> <p>利用者ニーズの把握と対応についてですが、例年実施しております利用者アンケートの結果につきましては、総合評価で96.7%の方々から十分・ほぼ十分という回答をいただいております。この評価につきましては、施設が改修工事によりリニューアルしたことが1つの要因であると思っております。また、センターに寄せられました利用者の声に対する対応について、助言をいただきます利用者の声調整委員会を設置しております。円滑な運営に努めております。昨年度の主な聴取件数は176件となっております。</p> <p>利用者の特性を踏まえた適切な利用者支援についてですが、サービス提供の考えのところで触れました、多様なライフステージ・ライフスタイルに応じた支援としまして、53の事業を実施して参りました。この中で特徴的なものとしては、ジュニアを対象とした教室、重度障害者を対象とした教室、高齢者を対象とした教室を挙げております。</p> <p>障害者スポーツセンターの特徴を踏まえた運営の推進についてですが、センター最大の特徴は、利用者がいつ一人で来ても個別支援ができるよう、各施設に必ず支援員を配置されているということです。つまり単なる貸し館ではないということです。このことは、対象が障害がある方ですので、それぞれ障害特性があります。その障害特性を理解した上で危険のないように支援するという、いわばリスク管理という意味合いもございます。その手順として、医師や理学療法士、管理栄養士の専門職の方の相談を希望に応じて受けられるようになってございます。また、より安全・効果的に利用ができるよう、スポーツスタッフによる個別支援プログラムも作成してございます。</p>
---------------------------	---

<p>東京都多摩障害者スポーツセンター職員</p>	<p>関係機関・団体との連携の強化についてですが、広域型スポーツセンターとして身近な地域でスポーツを楽しめるような環境づくりということをして市町村や社会福祉協議会等、関係機関と連携して地域振興事業を行っております。令和元年度の実績につきましては、12の地域で25の事業を実施・計画して参りましたが、台風19号とコロナの影響により、結果的には11の地域で20の事業を実施してございます。この中で仮施設での最後のイベントとなりました、「TAMA スポーツまつり」を「調布市市民スポーツまつり」と同日開催で行い、仮施設のあった調布市とのレガシーになったと思っております。</p> <p>また、「事業見学会」は19件の見学があり、リニューアルされた施設に深い関心を寄せられておりました。</p> <p>地域振興事業の充実についてですが、センター事業の地域支援の担い手となります人材養成ということで、各種講習会を実施してございます。実施にあたりましては、教室を実際に手伝っていただく等、体験を取り入れながら実践に即した形で実施してございます。令和元年度の各種講習会の参加実績は、「スポーツボランティア講習会」が23人、「フォローアップ講習会」が61人、「初級障がい者スポーツ指導員養成講習会」が43人となっております。説明は以上となります。</p>
<p>鈴木部長</p>	<p>はい、ありがとうございました。それでは質疑に入りたいと思います。</p>
<p>守泉委員長</p>	<p>実績報告を比べてみると、普通は新しい施設だと、通常、エネルギーの効率性とかグリーンと上がるんで、その面では維持管理費関係ってというのが、大体新しい施設を運営していくのに、人がけっこう大変なので、管理費が増加すると思うんですけど、今回の計画・実績でみると逆の形になっているんですが、この辺のところってというのは、例えば管理事務費だと人件費が計画よりも抑えてるっていうんで、そのへんのところって、どういうふうにしてこんなことができたってことなんでしょうか。</p>
<p>東京都多摩障害者スポーツセンター職員</p>	<p>実は予算のほうはですね、調布の施設でやっていた時にかなりイレギュラーな実施で、単純な比較っていうのがなかなかできないんですね。なるべく我々としては、平成29年以前に国立にいたときの予算運営に戻そうということで一生懸命やってきました。それでかなり抑えた部分は出てきております。ただ、人件費についてはやはり色んなことがありました。後半はコロナで実際事業ができない部分とか変えられてしまうとか、そういったものも、昨年の、実際は7月から始まるんですが、完全には反映してないんですね。それで頓挫しちゃっているっていうのもあるんで、委員長がおっしゃるように形式的に考えたようには今のところいってないんです。</p> <p>ただ、この1年間見てみて安定してくると思います。ただ、ちょっとコロナが影響しておりますんで、不安定な部分ももちろんあるんですけども、そのへんを見極めてから、予算要求なんかに反映していきたいとは思っています。</p>
<p>守泉委員長</p>	<p>ありがとうございます。</p>

澤井委員	地域展開されているなど非常に素晴らしくやっていると思います。恐らく障害者の方はアクセスにかなり制限があるので、そういう意味では施設から出て行って障害者に近い所でやるというのは素晴らしいと思います。その際、一昔前だと、けっこう障害者の方が利用できない施設があったりしたんですけど、最近は大いぶ改善されてきているのでしょうか。
東京都多摩障害者スポーツセンター職員	去年うちでは 22 やったんですけど、だいぶ国立市に戻ってからも一緒に事業をしてくれないかとか、近隣のところでそういった話を持ってきていただきまして、向こうに行ってバドミントン大会をやったりとか、そういった展開は広がっていると思います。
澤井委員	車いすが使えなかったりとか、まだ最近もあるんですか、そういう施設は。
東京都多摩障害者スポーツセンター職員	地域のスポーツ施設が使いやすくなったかについてですけども、実際の生の声としては、いまだに傷がつくからあまり、と書かれているような声はございます。
澤井委員	ありがとうございます。
鈴木部長	他にいかがでしょうか。では質疑はこれで終了させていただきます。どうもありがとうございました。

## 二次評価の審議【東京都多摩障害者スポーツセンター】

発言者	内容
守泉委員長	東京都多摩障害者スポーツセンターの二次評価案について、事務局お願いします。
渡辺課長	<p>東京都多摩障害者スポーツセンターは先ほどの総合と同じように、Bと評価された方が3名、項目としては改修後に利用者が増加したこと。また、Aという評価された方が1名。スポーツ教室の利用者数が増えていること等が評価されています。</p> <p>以上でございます。よろしくお願ひいたします。</p>
守泉委員長	評価について5分程度で調整お願いします。今のお話を受けまして、澤井先生のほうから
澤井委員	先ほどとほぼ同じ対応でもよろしいのかなと。ただ都の方が、もうちょっと点をあげてもいいのかなと思います。皆さんに合わせるので大丈夫です。
守泉委員長	<p>ここは完全に場所を移転しておりますので、全然違う所に作ったってことで、前のところと少し違うのかなっていうのはあります。</p> <p>そのへんのあたりっていうのは評価のところで何かあるんですか？</p>
渡辺課長	<p>やっぱりここはフルオープンしましたんで、施設は全改修ですね。外観は同じですが、全く中身は違っておりますので、評価されて当然しかるべきという事情もでございます。</p> <p>ちょっと気になっているのが、元々多摩障害者スポーツセンターの利用者数については、14万人とか多い時は15万人ぐらい利用されておりました。改修に伴い一般的には必ず減るものですが、仮にV字回復で1.5倍とかなりいい数字が出ればよいのですが、まだやっぱり10万人。</p> <p>もうちょっと11万人とか12万人とか、元に戻るような数字に伸びていかないと辛いというところは正直あります。</p>
守泉委員長	かつての時と、利用者の年齢層とか、その辺のあたりは違いはないんですか。
渡辺課長	年齢層については状況は変わらないかと。大きく何か変わる要素はないのではないかと推察しております。
澤井委員	場所が変わったということで、アクセスが変わったんですよね。それによってちょっと商圈が変わりますし。
渡辺課長	そうですね、元々はあった場所が国立、今の場所ですって、それを工事するために調布庁舎という味スタの施設内の所に1年半ぐらい移転していて、それがまた元に戻ったという形です。
澤井委員	施設的には良くなったという感じですかね。
渡辺課長	そうですね。調布庁舎よりは良いと思います。

澤井委員	<p>障害者にとって。そうすると、もうちょっとまとめてほしいと。難しいですね、先ほどもおっしゃっていましたが、障害者の方は競技団体、社会福祉とか、団体とかに登録していらっしゃる方は割とつかまえやすいんですけど、お家の中にいるという方はなかなかつかまらない。</p>
渡辺課長	<p>どうしてもやっぱり団体・競技団体利用というよりは、個人個人がご自身のリハビリでしたりとかそういう目的で通われる方も多いので、例えば国立が閉館していた時に、違う施設でリハビリをやるようになると、習慣としてもうそっちに行く、もう国立に戻って来ないという形でお客さん離れが多少起きていると認識しています。</p>
澤井委員	<p>掘り起こしも難しい。そういうこともあって、出られて色んなところに展開しているということで、それは施設とはまた別の話にはなっちゃうんですけど。</p>
守泉委員長	<p>よく証券会社が移転した場合に、お客さんをじゃあ元に戻るかって言うと、なかなかそういうのがなくて、移ったものをもう一度取り戻すってなかなか難しい。次の人間関係もできているので、よっぽど前が良かったとか何かプラスのものがないと、なかなか戻るのが難しく、そこまで強く戻れるかというのもあるんですけど、評価に関してはよろしいですかね？</p> <p>全く新しいところってということで、もう少しグループの活用を見ていきたいということで。</p>
渡辺課長	<p>通常営業した時にどうか、という観点で評価いただければ。</p>
守泉委員長	<p>来年がコロナの状況が続いていた場合は。</p>
渡辺課長	<p>その後の通年開館、通常開館する時にどうかという観点でお願いします。</p>
守泉委員長	<p>分かりました。</p> <p>ということで、一次評価通りということで、よろしくをお願いします。</p>
鈴木部長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>それではここで休憩時間となります。ちょっと短くなってしまいますけど、13時42分再開とさせていただきますので、5分程度ということで、どうぞよろしく願いいたします。</p>

## 指定管理者によるプレゼン、質疑【有明テニスの森公園テニス施設】

指定管理者：有明テニス・マネジメントチーム

発言者	内容
事務局	<p>それでは指定管理者によるプレゼンテーションとなります。プレゼン時間は10分間、時間厳守ということでお願いします。10分間プレゼンいただいた後に質疑の時間を5分ほど取らせていただきます。残り3分になりましたら一度ベルを鳴らします。10分経ちましたら再度ベルを鳴らしまして、そこで終了ということになります。それでは、よろしくお願ひいたします。</p>
有明テニスの森公園テニス施設職員	<p>有明テニスの森公園テニス施設を管理・運営しております、有明テニスマネジメントチームです。どうぞよろしくお願ひいたします。本日の資料ですが、令和元年度の管理・運営状況と図面や写真を添付した補足資料をご用意しています。</p> <p>はじめに補足資料の左上の枠内を御覧下さい。令和元年度の施設・運営状況ですが、昨年7月末まで東京都が行っていた改修工事が一部竣工し、8月末に指定管理者へ、コロシアム、小コート、クラブハウス、屋外コートなどが引き渡されました。その後大会準備を経て9月中旬から12月末までの3か月半の期間、施設を開館しましたが、1月から組織委員会による、東京2020大会の仮設オーバーレイ工事が開始した為、再び施設を休館し、先月末まで工事を行っていたところで、それでは、資料に沿ってご説明いたします。</p> <p>管理状況、①適切な管理の履行の施設・設備の保守点検ですが、施設引渡し後、1か月足らずでテニス国際大会が開催されましたが、時間のない中、新規設備の運用に万全を期す為、設備の把握・マニュアル整備と設備操作の習熟訓練を繰返し実施しました。コロシアム屋根の開閉や照明、空調等、設備運用におけるヒューマンエラー防止を徹底し、その後の大会運営に支障を与えることなく確実に運用を行うことができました。また、昨秋の台風や大雨で度々冠水した箇所があった為、排水機能改善する工事を東京都と協議のうえ実施致しました。</p> <p>次に、施設提供につきまして、昨年度の開館は9月中旬から12月末までの3か月半の期間でした。9月中旬より施設を再開し、11月中旬まで「テニス国際大会」や「東京2020大会テストイベント」等、大規模テニス大会を開催しました。</p> <p>年初から主催者と調整を重ね、新たな施設の円滑な大会運営に努めた結果、いずれの大会も成功裏に終わらせることができました。</p> <p>補足資料の左下の枠内に大会の様子を撮った写真がありますので、ご覧になって下さい。</p> <p>「楽天ジャパンオープン」では、世界No.1のジョコビッチ選手の他、トップ選手を迎えて、約10万3千人の利用があり、過去最高の来場者数を記録しました。引き続き「東京2020大会テストイベント」として開催された「全日本テニス選手権」では、約2万6千人の利用がありました。準備段階から組織委員会及び日本テニス協会と綿密な調整を行い、全面的な協力を図りました。</p>

<p>有明テニスの森公園テニス施設職員</p>	<p>また、ショーコートをメイン会場に開催した「安藤証券オープン」では約6千2百人の利用がありました。さらに「UNIQLO チャリティテニスマッチ」では、フェデラー選手、錦織選手、車いすテニスの国枝選手等をコロシアムに迎え、約8千3百人の利用がありました。施設再開後、世界のトップ選手であるジョコビッチとフェデラーがオリンピックを視野に入れてコロシアムでプレーをしたことで、来場した選手、観客とも東京 2020 大会への機運が大いに高まったところでございます。また、管理運営基準に基づき、コロシアム、ショーコート、屋外コートの大会利用について優先受付を実施し、18大会の調整を行い、10大会に対して適正に減免措置を行いました。次に②法令等の遵守の対応としまして、情報事故を防止をする為、疑似ウィルスを添付した標的型メールを全社員に送付する模擬訓練や、セキュリティ担当部署による社内端末の全数検査、eラーニングによるセキュリティ研修を実施し、情報漏洩事故に対する意識の向上を図りました。また、メール送信セキュリティシステムを新たに導入し、誤送信等による情報漏洩予防を図りました。</p> <p>次に、③安全性の確保につきまして"防災への配慮として、消防計画に基づく「自衛消防訓練」を実施しました。火災報知器や消火栓等の消防設備の操作習熟訓練、負傷者の応急救護訓練等を実地しました。補足資料の右上の枠に訓練状況の写真がございますので併せてご覧下さい。その他、安否確認システムによる「社員の安否、被災状況を携帯電話から自動収集する訓練」を実施し、スタッフの対応能力の向上を図りました。また、大型台風の接近時には、被害が最小限に留まるよう事前対策を行うとともに不測の事態に備えてスタッフを宿直させ、施設の保全と利用者の安全確保に努めました。</p> <p>次に、④適切な財務・財産管理について。物品の管理ですが、改修工事後に調達した貴賓室や待合スペースの椅子、机等の備品について、都が推進する多摩産材を使用した木工備品を積極的に導入しました。これにつきましては、補足資料の右上の枠に備品の設置状況の写真がございます。さらに、テニス大会に必要なテニス備品、レストラン厨房設備等について、主催者と協議を重ね、施設引渡しから大会まで1か月足らずでございましたが適切に配備し、ニーズに応えることができました。</p> <p>次に⑤利用の状況の利用者数ですが、全体で約15万3千7百人でした。開館期間中も都改修工事が継続していましたが、昨年の利用者数約3万7百人と比べて大幅な利用者増となりました。</p>
-------------------------	--

<p>有明テニスの森公園テニス施設職員</p>	<p>続きまして、⑥事業の取組のスポーツ振興事業及び自主事業の実施状況ですが、スポーツ振興事業の充実策として、「キッズ&amp;ジュニアテニスカーニバル」と「東京都知事杯」を計画どおり実施しました。「キッズ&amp;ジュニアカーニバル」では、これまで子供達を対象としたレッスンイベントとして開催しましたが、新たに親子レッスンを新設するなど内容の充実を図りました。「東京都知事杯」は、これまで一般テニスプレイヤーのチーム対抗戦として開催してきましたが、新たな充実策としてミックス・トリプルスを採用し、シニア層でもテニスの試合を十分楽しめる大会として開催しました。テニスの日イベントの「スポーツフェスタ」を同時開催し、施設の再開を周知し、一般利用を呼びかけるとともに、各種体験型プログラムを用意し、気軽にスポーツに触れ合うことができる機会を提供することで、スポーツ実施率の向上に努めました。以上の取組につきましては、補足資料右下に写真がありますのでご覧下さい。また、「1 Day レディーストーナメント」及び「ソシアルテニス大会」を計画どおり実施し、生涯スポーツとしてのテニスの普及促進を図りました。</p> <p>次に、利用者ニーズの把握・利用者の満足度につきまして、日本テニス協会と利用者懇談会を開催し、改修工事後の施設運営及び大規模テニス大会の開催に関する意見交換を行いニーズの把握を行いました。</p> <p>また、一般利用者の満足度について、「清掃状況」や「スタッフの対応」に9割を超える満足度が示されました。その一方で、新規施設の利用案内が不足しているとの声が寄せられたため、館内サインを速やかに追加・整備し、施設案内の充実を図りました。</p> <p>その他、大規模工事への対応等でございますが、施設再開後も公園西側で都施工工事が継続していたが、都担当者と絶えず連絡調整を図ることで、来園者の安全を確保し、施設の提供を行うことができました。7月末に完成した新規施設の工事瑕疵による不具合に関して、発見の都度、都及び施工者に報告、相談を行い、利用者に影響を与えないよう早期是正を行いました。</p> <p>また、組織委員会の仮設オーバーレイ工事が1月より開始になりましたが、都及び組織委員会と調整のうえ地域住民に情報提供を行うとともに当社主催による関係者会議を毎週開催し、情報共有及び課題調整を積極的に進め、円滑な工事実施のため協力を図りました更に、東京 2020 大会の運営に関し、業務の役割分担、防火防災管理、諸室及び備品利用、清掃等、組織委員会と緊密な連携体制を構築し、大会の円滑実施に寄与すべく継続的な調整を進めてきたところでございます。以上で説明を終わります。ご清聴ありがとうございました。</p>
<p>鈴木部長</p>	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>それでは、質疑のほうに入りたいと思います。ご質問等ございましたらよろしくお願いたします。</p>

守泉委員長	<p>新聞報道等であったように工事業者が破綻したっていうのがありますが、それに対してのどのような対応されたのかな、というのが気になっています。</p> <p>それから後、情報セキュリティの自主検査ってどういう形でやったのかと。</p> <p>いわゆる文書的なチェックをする場合と、ペネトレーションテストっていう侵入テストということまでどんな感じでやられたのかなと。</p>
有明テニスの森公園テニス施設職員	<p>まず、1つ目の質問でございますけれども、平成30年の10月に施工会社が破綻したことによりまして、こちらの補足説明資料の図面でございます通り、公園の西側の赤い斜線のエリアはですね、当初インドアコートや隣の練習コート8面ですとか、あと南側のオリンピックの試合で使うコートですけれども、こちらは全て昨年4月に引き渡される予定だったんですけれども、それが全て今年の3月末に先送りされてしまって、実際我々としましては一般利用だとか大会利用を見込んでいたところ、そこが見込めなくなったということで、ちょっと想定外の調整等が行われたということでございます。</p> <p>で、2つ目の質問でございますけれども、弊社のシステム担当者による情報セキュリティ検査に関しましては、担当部署の者がですね、全パソコンを実際に操作しまして、メールのやりとりの状況ですとか、ホームページの閲覧状況とかですね、実際一基一基は10分程度かけてですね、実際に操作しながらチェックをして確認してございます。</p>
守泉委員長	よくメールなんかで、わざと怪しいメールを送って、引っかかった人の部分があるよっていうのを調べたりするんですが、そういうものをやるんですか？
有明テニスの森公園テニス施設職員	それはこちらに記載させて頂きまして、この個人情報保護の取組の1つ目に、全スタッフを対象に疑似ウイルスによる標的型メールに対応した「情報セキュリティ緊急時対応訓練」でございます。
守泉委員長	それが、標的型メールに対応したものなんですね。
有明テニスの森公園テニス施設職員	そうです。説明がちょっと長くて分かりづらいんですけども、で、実際に引っかかった方に関しては、全社に公表しまして、あの、名前は出さないんですけども、全数のうち何件がそういった開封状況にありますので、っていう注意喚起を情報セキュリティ担当者の方から全社員にしております。
守泉委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ちなみに、つまらないことですが、民法改正があって瑕疵担保責任という言い方はしなくなって、契約不適合責任という言い方に変わりました。</p> <p>瑕疵担保という言い方はもう使わなくなりました。</p>
有明テニスの森公園テニス施設職員	ありがとうございます。
丸山委員	1点だけよろしいでしょうか。実は、メジャーなスポーツではなくて、都民が

	<p>一般的に楽しんでいるマイナーのスポーツがたくさんあるんです。一番多いのはゴルフ型が多いんですけども、2番目がテニス型で、私が把握している限りでは12種目あるんですよ。私はパドルテニスという種目で、お借りしたことがあるんですけども、とにかく公園全体がきれいに整備されていて気持ちが良いと感じました。ありがとうございます。</p> <p>それで、パドルテニスではテニスのコートを使わせていただきました。他にそういう例があったら、教えて頂きたい。要するに、テニスでなくて、ミニテニスのような事例があったら教えて頂きたい。</p>
有明テニスの森公園テニス施設職員	<p>はい。有明テニスの森公園はご存知の通り、平成29年11月からずっと工事中でございまして、以前、有明テニスの森スポーツフェスタという公園を使っていた、その際はパドルテニスでも大変お世話になりました、いわゆるそのイベントで使用したりですね、そういったニュースポーツ的なパドルテニスやバウンドテニスはそういった競技はなかなか行われなような状況ではあるんですけども、インドアコートも開設されましたし、常にイベントを開催する期間にはそういったものに取り組んでいこうということを念頭においております。状況としては、そういった状況でして、他にニュースポーツ的な取組としては、昨年ですね、ユニクロのチャリティマッチの際に、日本テニス協会が「てのひらけっと」という子供達のグローブのような手のひらでボールを打つという、テニスを始める入り口というか普及のために力を入れております。</p>
澤井委員	「テニピン」？
有明テニスの森公園テニス施設職員	<p>別の事業者でも確か同じようなもので「てのひらけっと」ってあるんですけども、そういったラケットを揃えずともテニスを楽しめるような、そういった取組も担当者はしております。</p> <p>我々もそういった企画を伺いながら協力しているところでございます。</p>
澤井委員	<p>まあ、一方で、有明コロシアムは1万人収容する施設でして、色々な大会、都の大会だけじゃなくて、色々なお客様が来るような非常に素晴らしい施設ですが、一方で、周辺は何にもないと言ったらちょっとあれなんですけれども、飲食店とかほとんどなく、まあ参加者もそうなんですけれども、観戦者が大勢いらっしまった時に、その方達にどのような対応・取組なんかをされているのかお聞きしたいなと思います。</p>
有明テニスの森公園テニス施設職員	<p>公園施設としては、レストラン、まだ開設はしてないんですけども、もう店舗の新設のほうは用意されていまして、ゆくゆくはオリンピック後になりますけれども、条件が整えば誘致してという形で。</p>
澤井委員	<p>あと1点だけ。財務状況のところ、人件費が計画に対して実績が1千万円くらい少なくなっているのと、スポーツ振興事業費が計画に対してずいぶん未達といたしますか、これはコロナの影響なのか、簡単に伺えますか。</p>
有明テニスの森公園テ	<p>これは、先程の申し上げた工事の遅延による影響でございまして。</p>

ニス施設 職員	
澤井委員	遅延でね。相当大的な影響があったのでしょうか？
有明テニスの森公園テニス施設 職員	相当大的な影響がありまして、人件費に関しましては当初今年の3月までインドアコートも含めて営業するような計画上あったんですけども、組織委員会オーバーレイ工事が年明けに始まってしまい、その工事エリアが年度末まで使えなかったという関係です。
澤井委員	計画の時には分からなかったのでしょうか？
有明テニスの森公園テニス施設 職員	そうですね。計画時期にははっきり決まっていなかったのです。
澤井委員	その時、バイトされた方の雇用とか補償は適切になされていたのでしょうか？
有明テニスの森公園テニス施設 職員	それは、アルバイトというより臨時職員でしたので。単純に必要なはなかったのです。
澤井委員	アルバイトの場合も、雇用している場合には発生することも確かあります。
有明テニスの森公園テニス施設 職員	そうですね。全く0にしているわけではないんですが、営業するとどうしても朝9時から夜9時まで営業するんで、それなりの人員を確保しなければいけないんですけども、それがそのまま無くなってしまったので、その分が差額として出ているということです。
澤井委員	そうですか、コンプライアンス上、大丈夫と言うことであれば問題ないです。
有明テニスの森公園テニス施設 職員	そうですね。社員は適正に配置をしまして計画通りにしております。
鈴木部長	ありがとうございました。では、質疑は以上になります。指定管理者の皆様、ありがとうございました。

## 二次評価の審議【有明テニスの森公園テニス施設】

発言者	内容
守泉委員長	有明テニスの森公園テニス施設の二次評価案につきまして、事務局よりご説明をお願いします。
渡辺課長	有明テニスの森テニス施設につきましては、委員の皆様がBの評価をおつけ頂いています。大規模改修後の限られた期間で施設再開の準備を行い、継続中の工事と調整しながら施設の貸し出しを適切に実施した、ですとか、パドルテニスなどのニュースポーツも利用できるの、都民のスポーツ実施率向上に役立っている、等でございます。説明は以上でございます。委員長よろしくをお願いします。
守泉委員長	では、有明テニスの森公園の評価について調整していきたいと思うんですが、みなさんこれBという評価なので、評価に関してはこれでいいと思うんですけども、何か、それ以外にご意見等ございましたらよろしくをお願いします。
澤井委員	僕、いま質問したんですけども、支出がだいぶセーブした場合で3,400万くらいの黒字になっているのは次年度繰越なのか少し気になったところなんですけど。他の施設でもありましたが。支出が減った分だけっていうのは。
守泉委員長	ちょっと細かいところまでは分からないけど、よく繰越でやる場合とか、本来、例えば年度内でやるために予算があったものが、できなかった場合に、そのまま処理上繰越のままやっておいちゃうっていうような色々なケースがあると思うんですけど、いかがですか。
渡辺課長	原則、例えば黒が出て、それをどうするかって時にですね。選定時に事業計画書で記載がされています。例えば、スポーツ振興事業を充実させるようなお金として使うとか。必要な備品を買うとかですね。あとは施設によっては都に還元する、戻してもらおうという形は事業計画書上うたわれております。ただ、実際のところは金額の多寡にもよりますけれども、指定管理期間全体として見ておりますので、一年一年の判断でなくて、今年黒でも来年が赤っていう可能性もある。特にコロナで今年度決算、非常に悪くなるということもありますので、そこは事業スパンを指定期間内を見て、最後に清算します。
澤井委員	分かりました。ただ注意して頂きたいのは、黒字だからと言って、指定管理料を減らさないように。
守泉委員長	他にございますでしょうか。よろしいですか。じゃあ、第一次評価通りBということで、よろしく願いいたします。
鈴木部長	はい、ありがとうございました。

## 指定管理者によるプレゼン、質疑【若洲海浜公園ヨット訓練所】

指定管理者：若洲シーサイドパークグループ

発言者	内容
鈴木部長	では指定管理者の皆さんに入室していただきます。
事務局	ご準備はよろしいでしょうか。それでは指定管理者によるプレゼンテーションとなります。プレゼンの時間は10分間、時間厳守ということをお願いしたいと思います。その後、質疑のお時間を5分ほど取らせていただきます。残り3分になりましたら一度ベルを鳴らします。10分経ちましたら再度ベルを鳴らします。そこで終了ということになります。それでは、よろしくお願いいたします。
若洲海浜公園ヨット訓練所職員	<p>私、若洲シーサイドグループ、東京港埠頭株式会社でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、資料のほうに沿ってご説明させて頂きたいと思っております。</p> <p>まずは、管理状況についてでございます。適切な管理の履行としまして、施設設備の保守点検でございます。主だったものと致しましては日常点検を確実に致しておりまして、昨年度も不具合対応件数としましては87件あったところ、67件直営作業で対応しております。中でも水垢を除去する薬剤を使用し、各トイレの尿石除去を徹底したことで利用者に施設を気持ちよく使用していただいたところでございます。</p> <p>また、日々のヨットの小規模な修理またはメンテナンスにつきましては、樹木管理、スロープ清掃は、スタッフ直営で行っております。</p> <p>年度末には、新型コロナ感染拡大防止の観点から利用者に対してはマスク着用、手洗い・うがいの励行をお願いする取組みを行っております。場合によっては、ヨット教室や支援活動事業等の中止を行い利用者の安全確保を第一に確保した管理を行いました。</p> <p>次に安全性の確保と致しまして、昨年度に引き続きのことではございますがヨット教室の安全・安心確保にむけた取組みを行っております。経験豊富なインストラクターの配置他、以下の通りでございます。特に監視カメラによるヨットの動向及び周辺海域の監視につきましては、安全性を重視する運営が非常に我々としましては重要と考えております。</p> <p>続きまして、防災への配慮・緊急時対策でございます。従来から引続きまして、災害、防災の訓練等行っておりますが昨年度におきましても2月19日、また2月26日にそれぞれ防災訓練を実施しているところでございます。</p> <p>次に事業効果でございます。スポーツ振興事業の実施状況でございます。</p> <p>事業計画に基づきまして、着実に実施しているところですが、その中でもヨット祭りや障害者体験乗船会、ジュニア育成にむけた取組を行ってきました。ヨット祭のコンテンツである障害者体験乗船会を充実させるため、各関係団体と協力致しまして回数の増加を計画し行っているところです。</p>

若洲海浜公園ヨット訓練所職員	<p>特に障害者体験乗船会につきましては、30年度に続きまして31年度も実施しているところです。おかげさまをもちまして、人数も増えています。</p> <p>次に利用者の満足度でございます。利用者向けにアンケートを配布しております。施設の総合満足度につきましては97%という高い評価を頂いております。それぞれ高い評価を頂いているところですが、特にインストラクターの対応では100%という高い評価をいただいております。今後も引き続き高評価を得られるように、行って参りたいと思っています。</p> <p>その他の取組と致しまして、記載にありますように、ウェルカムガーデンの設置やまたはシャンプー、アメニティなんですが、お客様が忘れたというようなお声を頂いた時にはこちらのほうでご用意させて頂いているものです。また、アンケートにつきましても、施設のおもてに公表をさせて頂いているものです。今後もお客様が快適に過ごせるように、環境づくりを行ってまいりたいと思います。利用促進への取組でございます。本年度も事業計画に基づきまして、「ヨット体験乗船会」、「Tokyo Junior Youth」、「高等学校ヨット部活動支援事業」等の普及啓発及び育成事業を行っております。本年度も、取組の成果がありまして、記載にあります通り、東京港レガッタ、夢の島レガッタでの優勝の実績がございます。</p> <p>また、一昨年度から継続して実施しております、不登校の児童を支援するセーリング事業も実施しております。開催月につきましては記載の通りでございます。48名の参加がございました。</p> <p>その他と致しまして、神奈川県より東京2020大会会場となる湘南港からのヨット受入れの要望がございました。移設にあたっては、神奈川県と事前の打合せや移設に関する協定を締結致しまして、密に調整を図ったところでございます。その結果令和2年1月に円滑にヨットの移設を行うことができました。この時の対象艇数と致しましては69艇でございました。</p> <p>簡単ではございますが、ご説明のほうを終わらせていただきます。ありがとうございました。</p>
鈴木部長	それでは、何かあればよろしくお願ひします。
澤井委員	1点、利用者アンケートなんですけれども、回答数が76件。これ回答数を増やすのはちょっと難しいところだったんですかね？
若洲海浜公園ヨット訓練所職員	回答数？そうですね。
澤井委員	76はこのような調査としては少ないと思います。
若洲海浜公園ヨット訓練所職員	あの、数からしますと確かに少ないと言われればそうなのかもしれないのですが、一般の公園とはちょっと違ひまして、ヨットに乗ることを目的に来られる方がほとんどで、あまり初めての方がいらっしやらない。その中でアンケートに協力して頂いている方々がですね、初めて来られる方とか、あまり回数が来てない方とか、そういう方が積極的に出していただいた結果でございます。

澤井委員	リピーターはあまり回答してくれないんですか？
若洲海浜公園ヨット訓練所職員	そうですね。やはりずっと来ているので、ペーパーとしてというよりは口頭でというような形になりますけれども。
澤井委員	これ、こういう評価で使われる調査ですので、これは頑張って苦勞して回収していただかないと、ちょっと 76 票というのは調査としては信頼性がなくなってしまいますので、これはちょっと頑張って頂けたらというふうに思います。
若洲海浜公園ヨット訓練所職員	今後は数のほうを増やすように努力致します。
澤井委員	ぜひリピーターの方にですね、回答いただくようにして。リピーターの方はやっぱり日々使っていて、施設運営で変わったことがあった時にそれに気づくチャンスにもなりますので、ぜひ検討して下さい。
若洲海浜公園ヨット訓練所職員	分かりました。
丸山委員	一昨年、施設を見学させて頂いて、障害者の体験乗船をされているっていうんで、素晴らしいなあとと思ったんですが、ただ、船も障害者用のあるんですね。知らなかったんで、ちょっとびっくりしたんですけど素晴らしいと思いました。それでですね、障害者の体験乗船、まあ、昨年でなくてその前でもいいんですが、その後、乗船された方達の変化があったのかどうか、そういうのは聞いているようなことはありますか？
若洲海浜公園ヨット訓練所職員	ハーバースターの浜崎と申します。結構ですね、転覆しないヨットに乗って頂いてますんで、安全性が非常に高いです。そこで1年、2年目の方はかなり走らせるようになりますね。主に下肢の不自由な方、まあ車椅子の方、それからブラインドですね、目が不自由な方、今年から今度は耳の不自由な方、それで今度また体験会をやるんですけれども、そんなことで範囲がだいぶ広がって参りまして、私どももそれに対応する体制を作らなきゃいけないので、障害の度合いが全部違いますので、大変難しい部分はございます。以上でございます。
丸山委員	乗船された方達がその後、こんなに喜んだとか、そういうのはありますか？
若洲海浜公園ヨット訓練所職員	おかげさまで、今年もやりまして7月に2回やりました。その時には人数が非常に増えまして、要はリピーターの方、2回、3回と興味を持って頂いて、ご来場頂いております。
丸山委員	なるほどね。ありがとうございます。
鈴木部長	他にはいかがでございましょうか。では質疑はこれで終了させて頂きたいと思っております。指定管理者の皆様、どうもありがとうございました。

## 二次評価の審議【若洲海浜公園ヨット訓練所】

発言者	内容
守泉委員長	若洲海浜公園ヨット訓練所の二次評価案につきまして、事務局よりご説明をお願いします。
渡辺課長	若洲海浜公園ヨット訓練所につきまして、皆様Bの評価を頂いております。評価方法としましては、スポーツ振興事業と自主事業の半数において、前年度よりも参加者数が増加したものでございます。説明は以上になります。
守泉委員長	今のお話を受けまして、若洲海浜公園ヨット訓練所につきまして調整したいと思えます。皆様の評価に関しては一次評価と変わりはないんですが、それ以外のところで何か一言あれば伺いたいと思えます。澤井委員のほうからよろしくお願いします。
澤井委員	<p>先ほども質問しましたが、アンケートが回収数が少ないのと、見てもらうと分かるように、聞き方、尺度が、「大変良い」から「悪い」の間に「普通」があるんですね。たぶんここだけだったんじゃないかと。これは「普通」があると「普通」に回答が集まったりして影響が大きいんですね。それでもやっぱり「大変良い」「良い」が多いんですけど。並べて比較・評価するには尺度も統一しないといけません。尺度はきちんと揃え、サンプル数についても頑張っただけ集めてくださいという形にしないと、評価指標としては信頼性が担保できない。</p> <p>あと、財務状況のところ、人件費が計画に対して減っているところがありまして、色々あるんだろうと思えますけども、スポーツビジネスで雇用されている方の待遇というのはわれわれが非常に気にしているところです。</p>
澤井委員	<p>そういうこともありますので、こういうところのお金は適宜使ってほしいなと思えます。事情がそれぞれあるとは思いますが。アルバイトだからそのまま使わなかったとか、雇用予定だったけど雇用しなかった、ということがあった場合に、法的なことはわかりませんが、補償する必要はなかったかどうか気になるところです。</p> <p>今、大学生もアルバイトが無くなっちゃって。とはいえ、中にはアルバイトでも補償してくれる会社もあるようで、そこらへんですね。法律的な部分もありますけども、働いている方の待遇といえますか、そういうのはすごく気を使って頂きたいなと思えますね。</p>
丸山委員	<p>実は私が所属している団体は国のスポーツ基本計画で名指しされているんですよ。障害者と健常者と一緒にスポーツを楽しむような、そういう社会にしたいということで、それを名指しでやってくれっていうんで、かなり私も障害者と一緒にどういうプログラムを組んだらできるかと、常に考えております。</p> <p>障害者だけっていうより、障害者と一緒にとるところを是非大事にしたいと思っているので、そんなことをいつも考えています。障害者の体験乗船をされているところに注目したんですけど。</p>

澤井委員	それはすごく良い話で、ああいうのをちゃんと反映してほしいですね。障害者の方が喜んでいていうのを、評価できるようにしてほしいなという気がしますね。あと、埠頭工事についても、分量だけ見れば少ないのかもしれないですが、そういうこともきちんと評価できるようになればいいかなと思いますね。
守泉委員長	マラソンとかでも普通に介添えと一緒に走ったりというのもやっておりますからね。
小海委員	この施設に関しては、昨年度までは、ちょっと足りないみたいな感じが全体的に見えていたのですが、今年はいろんな面でだんだん全体がよく見えると感じて。スポーツ振興事業か自主事業、なんか足りないかなって思っていたのが、落ち着いてきたかなという印象です。
守泉委員長	そうですね。慣れてきて落ち着いてできている。
小海委員	見方だと思うんですけど、障害者の体験は、実際の障害者の方は参加29名で、スタッフが126名と書いてあるので、そういう広がりもまた、いろんな形で評価できる方向になってきたとは思っています。
守泉委員長	私のほうからは、今のお話にあったように、私の記憶では1万人ぐらいの母集団に対して70件くらいだと、有効性見るのにギリギリの数字なんですね。だいたい100近くはデータがほしい。もう少しほしいですね。またその一方で、色んな修理によって今ちょうど使えない状況になっているのと、今度その管理が逆に非常に大変だろうと。私もちょっとヨットはやったことあるので、けっこうメンテナンスで色々と大変でしょうねっていうのはあります。
守泉委員長	そうは言ったとしても、評価としては第一次評価通りということによろしいかと思えます。
鈴木部長	はい、ありがとうございます。

## 全体整理

発言者	内容
鈴木部長	全体といたしましては何かございますでしょうか。
澤井委員	<p>先ほどもお話しさせていただいたんですけども、気になったのは、まとめて5つありまして、1つめは従業員の待遇についてきちんと確認できるような評価していただければなど。あんまりないとは思いますが、比較的こういう指定管理の中だと利益をあまり取るわけにもいかず、人件費のところで取るケースがあります。何年か同じ業者がやっていると、段々専任を減らしたりとか、そういうことをやられたりっていうこともあって、ちょっと気を使っていたきたいと思います。特に今回の場合はコロナ関係で事業を縮小しているんですが、人件費はちゃんと支払われているか、休業補償されているかということは気をつけていただきたいなということと、2つめはこれもお話ししたように、参加型と観戦型施設をきちんと分けて評価すべきということです。それぞれ目的も違うし内容も違っているのできちんと分けてほしい。具体的には評価の基準で参加者数と観戦者数を分けたほうが良いと思いますし、満足度のアンケート調査も参加者の意見と観戦者の意見を両方収集すべきだと思います。観戦者の意見はすごく大事で、公共施設って観戦者として行くところってこう不備があったりするんですね。先ほども話したように、小さい子供を連れて行った時に授乳室がないとか、トイレが使えないとか、アメニティの問題とか。そういうところってというのは、チェックしていかないと改善しない部分もあるんですね。そうしたところ気を使っていたきたいなということと、3つめは地域振興の観点、それから地域のコミュニティやステークホルダーとの連携ということです。特にステークホルダーとの連携については、指定管理者選定する際には比較的どこでも評価に入れるのですが、この中間評価ではあまりそれを評価しないのはちょっと不思議です、そこをきちんと評価していただきたいというのが3点目です。障害者スポーツセンターはやっておりましたが、あれを「業者からの提案」として書かなければいけないということは、逆に言うと評価する指標がないということです。そこはしっかり評価していったほうが良いのではないかと思います。</p>

<p>澤井委員</p>	<p>4つめは、これは最初のほうで言いましたけど、トレーニング施設については、よくある民間と競合する施設なので、公共施設なりのミッションというか使命をきちんと考えていただいたほうが良いのかなということです。フィットネスクラブが無い地域でやるのならまだ分かるんですけども、東京都の都心でトレーニング室を設置することの意義は何かということですね。そういうことをきちんと考えるべきではないかなというところです。</p> <p>最後は、これも最初のほうで言いましたけど、情報発信の点ですね。すべての施設のホームページを拝見しましたが、良い言い方をすればシンプルなんですけど、情報量が少ない。</p> <p>例えば障害者スポーツセンターのところで気になったのは、やっぱりアクセスのところで、たとえば駅にしてもこの駅から出るとここのホームのここにエレベーターがありますよとか、そういう情報があっても良いんじゃないかなとか思ったりするんですね。素人の発想ですけども。この道を通ってくるとバリアフリーになっていて来やすいですよとか、そういう情報も含めて利用者にきちんと利用情報を提供していくようなイメージです。あと写真をもうちょっと使ってほしいんですね。使う時のイメージをするようなものがもうちょっとあったほうが良いかなと。SNSについてはどこの施設も割とちゃんとやってらっしゃるんですけども。以上です。ちょっとご検討いただけますでしょうか。</p>
<p>鈴木部長</p>	<p>はい、ありがとうございます。それではよろしいでしょうか。どうもお疲れ様でした。以上をもちまして、本日予定しておりました審議は終了でございます。</p> <p>委員の皆さま方におかれましては、ご多忙中のところ、長時間にわたる会議にご出席いただきまして、ありがとうございます。今後とも、東京都のスポーツ振興施策にご協力賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>渡辺課長</p>	<p>最後に、今後の予定でございますが、評価委員会による二次評価に基づきまして、所管局で総合評価を決定し、9月頃に評価結果をHP等で公表する予定となっております。また、公表資料はお配りしております次第が頭についてございます資料一式となっております。</p> <p>では、これをもちまして、オリンピック・パラリンピック準備局指定管理者評価委員会を閉会いたします。本日はどうもありがとうございました。</p>